

大学等名	四国大学
プログラム名	四国大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム
適用モデルカリキュラム	改訂版モデルカリキュラム(2024年2月22日改訂)

応用基礎レベルのプログラムを構成する授業科目について

① 申請単位  ② 既認定プログラムとの関係

③ 教育プログラムの修了要件

④ 対象となる学部・学科名称

⑤ 修了要件  
 プログラムを構成する科目「AI・データサイエンス数理基礎」(2単位)と「AI・データサイエンス実践基礎」(2単位)の合計4単位を取得すること。

必要最低科目数・単位数  科目  単位 履修必須の有無

⑥ 応用基礎コア「Ⅰ. データ表現とアルゴリズム」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7	授業科目	単位数	必須	1-6	1-7	2-2	2-7
AI・データサイエンス数理基礎	2	○	○	○	○	○							

⑦ 応用基礎コア「Ⅱ. AI・データサイエンス基礎」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-10	授業科目	単位数	必須	1-1	1-2	2-1	3-1	3-2	3-3	3-4	3-5	3-10
AI・データサイエンス数理基礎	2	○	○	○	○																		
AI・データサイエンス実践基礎	2	○				○	○	○	○	○	○												

⑧ 応用基礎コア「Ⅲ. AI・データサイエンス実践」の内容を含む授業科目

授業科目	単位数	必須	授業科目	単位数	必須
AI・データサイエンス数理基礎	2	○			
AI・データサイエンス実践基礎	2	○			

⑨ 選択項目・その他の内容を含む授業科目

授業科目	選択項目	授業科目	選択項目

⑩ プログラムを構成する授業の内容

授業に含まれている内容・要素	講義内容
(1) データサイエンスとして、統計学を始め様々なデータ処理に関する知識である「数学基礎(統計数理、線形代数、微分積分)」に加え、AIを実現するための手段として「アルゴリズム」、「データ表現」、「プログラミング基礎」の概念や知識の習得を目指す。	1-6 ・集合、ベン図、条件付き確率、代表値と分散・標準偏差、ベクトルと行列、多項式関数、1変数関数の微分法 「AI・データサイエンス数理基礎」(第3回, 第5回)
	1-7 ・アルゴリズムの表現(フローチャート)、並び替え(ソート)、探索(サーチ) 「AI・データサイエンス数理基礎」(第8回)
	2-2 ・コンピュータで扱うデータ(数値、テキスト、画像、音声など)、構造化データ、情報量の単位(ビット、バイト) 「AI・データサイエンス数理基礎」(第10回, 第12回, 第13回)
	2-7 ・整数型、浮動小数点型 「AI・データサイエンス数理基礎」(第10回) ・変数、代入、四則演算、論理演算、配列、関数 「AI・データサイエンス数理基礎」(第11回～第13回)
(2) AIの歴史から多岐に渡る技術種類や応用分野、更には研究やビジネスの現場において実際にAIを活用する際の構築から運用までの一連の流れを知識として習得するAI基礎的なものに加え、「データサイエンス基礎」、「機械学習の基礎と展望」、及び「深層学習の基礎と展望」から構成される。	1-1 ・データ駆動型社会、Society 5.0、データサイエンス活用事例、データを活用した新しいビジネスモデル 「AI・データサイエンス数理基礎」(第2回)
	1-2 ・データ分析の進め方、仮説検証サイクル 「AI・データサイエンス数理基礎」(第4回)
	2-1 ・ICT(情報通信技術)の進展、ビッグデータ、ビッグデータの収集と蓄積、クラウドサービス、ビッグデータ活用事例 「AI・データサイエンス数理基礎」(第9回)
	3-1 ・AIの歴史、推論、探索、エキスパートシステム、汎用AI/特化型AI、人間の知的活動とAI技術、AI技術の活用領域の広がり 「AI・データサイエンス実践基礎」(第2回)
	3-2 ・AI倫理、AIの社会的受容性、プライバシー保護、個人情報の取り扱い、AIに関する原則/ガイドライン 「AI・データサイエンス実践基礎」(第3回)
	3-3 ・実世界で進む機械学習の応用と発展、機械学習、教師あり学習、教師なし学習、強化学習、学習データと検証データ 「AI・データサイエンス実践基礎」(第4回)
	3-4 ・実世界で進む深層学習の応用と革新、ニューラルネットワークの原理、ディープニューラルネットワーク(DNN)、学習用データと学習済みモデル 「AI・データサイエンス実践基礎」(第6回)
	3-5 ・実世界で進む生成AIの応用と革新、基盤モデル、大規模言語モデル、生成AIの留意事項、プロンプトエンジニアリング 「AI・データサイエンス実践基礎」(第9回)
3-10 ・AIの学習と推論、評価、AIの開発環境と実行環境、AIの社会実装 「AI・データサイエンス実践基礎」(第10回～第14回)	

(3)本認定制度が育成目標として掲げる「データを人や社会にかかわる課題の解決に活用できる人材」に関する理解や認識の向上に資する実践の場を通じた学習体験を行う学修項目群。応用基礎コアのなかでも特に重要な学修項目群であり、「データエンジニアリング基礎」、及び「データ・AI活用企画・実施・評価」から構成される。	I	実データを対象としたPythonによるプログラミング実践演習 ・代表値(平均値)、標準偏差 「AI・データサイエンス数理基礎」(第12回, 第13回) ・構造化データ 「AI・データサイエンス数理基礎」(第12回, 第13回) ・変数、代入、四則演算、論理演算 「AI・データサイエンス数理基礎」(第12回, 第13回)
	II	Google Colaboratoryを用いたPythonによるPBL実践演習 ・データ分析の進め方、仮説検証サイクル 「AI・データサイエンス実践基礎」(第11回, 第12回) ・現象のモデル化、クラウドサービス、機械学習ライブラリ 「AI・データサイエンス実践基礎」(第12回, 第13回) ・AIの学習と推論、評価 「AI・データサイエンス実践基礎」(第11回～第14回) ・仮説立案、分析設計、データ収集および加工、データ分析の実施、AI技術の適用、評価・改善事項の確認 「AI・データサイエンス実践基礎」(第11回～第14回)

⑪ プログラムの学修成果(学生等が身に付けられる能力等)

データ・AI活用に必要なとされる数理的な考え方を理解するとともに、データから意味を抽出し、現実の問題にフィードバックする能力、AI・データを活用して課題解決をするための基礎能力を修得し、専門分野での応用につなげる力を身に付ける。

応用基礎レベルのプログラムの履修者数等の実績について

①プログラム開設年度 令和6 年度(和暦)

②大学等全体の男女別学生数 男性 876 人 女性 1496 人 ( 合計 2372 人 )  
 (令和6年5月1日時点)

③履修者・修了者の実績

学部・学科名称	学生数	入学定員	収容定員	令和6年度		令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度		履修者数合計	履修率
				履修者数	修了者数												
文学部	422	115	472	3	3											3	1%
経営情報学部	711	180	636	5	5											5	1%
生活科学部	838	190	872	3	3											3	0.3%
看護学部	401	100	409	1	1											1	0.2%
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
																0	#DIV/0!
合計	2,372	585	2,389	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	1%

大学等名

教育の質・履修者数を向上させるための体制・計画について

① 全学の教員数 (常勤)  人 (非常勤)  人

② プログラムの授業を教えている教員数  人

③ プログラムの運営責任者  
 (責任者名)  (役職名)

④ プログラムを改善・進化させるための体制(委員会・組織等)  
  
 (責任者名)  (役職名)

⑤ プログラムを改善・進化させるための体制を定める規則名称

⑥ 体制の目的

⑦ 具体的な構成員

⑧ 履修者数・履修率の向上に向けた計画 ※様式1の「履修必須の有無」で「計画がある」としている場合は詳細について記載すること

令和6年度実績	1%	令和7年度予定	2%	令和8年度予定	6%
令和9年度予定	12%	令和10年度予定	15%	収容定員(名)	2,389

具体的な計画

上記の目標を実現するために、本プログラムについて、さらなる周知を図る。ホームページやパンフレットへの掲載、学内掲示等で広く情報を発信する。また、オリエンテーションや、1年前期開講の必修科目「初年次ゼミ」「キャリア形成入門」、1年後期開講の必修科目「AI・データサイエンス入門」の授業を通して現代社会で求められている知識やスキルについて説明、習得を促す。さらに、全学共通科目の中のキャリア関係科目の授業においても、本プログラムを案内、卒業後の実社会においてAIやデータサイエンスとの関わり方やその重要性・有用性等について具体的な事例を交えて説明することで本プログラムの履修を促す。加えて、令和7年度からは第2の専門領域を学修する副専攻プログラムを開始しており、その中に「AI・データサイエンス副専攻プログラム」を開設、全学生に向けて自らの専門分野にも応用できる内容であることを伝えると共に、本プログラムのさらなる履修率の向上を図る。

⑨ 学部・学科に関係なく希望する学生全員が受講可能となるような必要な体制・取組等

本プログラムは、特定の学部・学科に関わらず、全学生が受講可能となるよう全学共通科目としている。令和7年度からはリテラシーレベルの科目に位置づけている「AI・データサイエンス入門」を全ての1年生を対象とした必修科目としており、AIやデータサイエンスの現代社会における役割や可能性、またそれらを扱う基礎的知識やスキルを育むとともに、その後の応用基礎レベルについても説明し本プログラムの履修へと繋げる。授業の教室は学内でも多数の学生が受講可能な部屋を割り当てており、多数の受講者の受け入れを可能としている。

令和3年度入学生からは、Society5.0時代に活躍できる人材を育成するため、携帯型パソコンを必携としている。準備が間に合わない学生については、情報教育センターにて貸出用ノートパソコンを整備している。これにより本プログラムにおける演習を伴う科目の履修がスムーズに行えるようになっている。

⑩ できる限り多くの学生が履修できるような具体的な周知方法・取組

本プログラムは、特定の学部・学科に関わらず、全学生が受講可能となるよう全学共通科目としている。令和7年度からはリテラシーレベルの科目として位置づけている「AI・データサイエンス入門」を全ての1年生が受講する必修科目としている。授業では、AIやデータサイエンスの現代社会における役割や可能性、またそれらを扱う基礎的知識やスキルについて学修し、応用基礎レベル科目への履修に繋げている。また、パンフレットへの掲載や学内掲示に加え、本学のWEBサイトトップ画面にプログラム専用ページへのリンクを掲載して、学生が情報を受け取りやすい環境を準備している。

⑪ できる限り多くの学生が履修・修得できるようなサポート体制

本プログラムは、特定の学部・学科に関わらず、全学生が受講可能となるよう全学共通科目としている。授業担当者が作成した教材は、LMS(マナバコース)で共有しており、閲覧が可能な環境を構築している。また、受講生の履修管理、課題提出、小テスト、授業アンケートなどをLMS(マナバコース)上で一括して管理し、教員が受講生の理解度・習熟度を的確に把握することにより、それぞれの受講生に応じた適切な指導が可能となっている。数学基礎等の基盤となる学修項目では習熟度合いに応じて補完のための課題を含めて対応するとともに、実践演習では各々の専門分野に応じて課題設定ができるようになっている。

⑫ 授業時間内外で学習指導、質問を受け付ける具体的な仕組み

学習指導については、LMS(マナバコース)にて管理し、学生は授業時間以外に不明点等をシステムを通じて確認することができ、質問は授業担当者を通じて返答する体制を整備している。また、担当教員のオフィスアワーを活用し、対面による質問も随時受け付けている。さらに、全学共通教育センターには教職員が常駐し、履修のサポートがいつでも可能な体制が整えられている。

自己点検・評価について

① プログラムの自己点検・評価を行う体制(委員会・組織等)

数理・データサイエンス・AI教育プログラム専門委員会 自己点検・評価部会

(責任者名) 加渡 いつみ

(役職名) 全学共通教育センター 副センター長

② 自己点検・評価体制における意見等

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学内からの視点	
プログラムの履修・修得状況	全学共通教育センターにおいて、プログラム当該科目の履修・単位取得状況を把握・分析することができ、授業担当教員もLMS(マナバコース)に記録された学修状況から、受講者ごとの講義への出席状況・取組状況を把握することができる。プログラムの履修・修得状況については、数理・データサイエンス・AI教育プログラム専門委員会にて定期的に確認し、点検・評価を行っている。
学修成果	授業で実施したアンケートを分析することによって、学修成果を把握している。最初はデータや分析に対する苦手意識のあった学生も、授業を通して「データ解析の基本的な手法について丁寧に説明されて理解しやすかった」「思っていたよりも公式がわかりやすかった」等、授業を通して多くの学生がAI・データサイエンスについての理解を深めた。アンケート結果は担当者会で共有し、授業内容について継続的に見直しを行っている。
学生アンケート等を通じた学生の内容の理解度	LMS(マナバコース)のアンケート機能等を利用し、科目担当者が学習内容に対する学生の理解度を確認している。これらの結果については担当者間で共有し、授業の評価や改善に活用している。令和6年度に実施した学生アンケートでは、理解の進み具合に関して8割以上の学生が肯定的な回答をしている。
学生アンケート等を通じた後輩等他の学生への推奨度	学生による授業評価の結果は担当者間で共有し、授業の評価や改善に活用している。それらを元に、本プログラムの意味や学修の意義についてオリエンテーション時やポータルでの周知の他、履修指導を行うチューターからも伝えている。令和6年度に実施した学生アンケートでは、後輩等、他の学生に本プログラムを推奨するかについて、7割以上の学生が肯定的な回答をしている。
全学的な履修者数、履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況	本プログラムは、特定の学部・学科に関わらず、全学生が受講可能となるよう全学共通科目としている。令和7年度からはリテラシーレベルの科目として位置づけている「AI・データサイエンス入門」を全ての1年生が受講する必修科目としている。授業ではAIやデータサイエンスの現代社会における役割や可能性、またそれらを扱う基礎的知識やスキルについて学修し、応用基礎レベルに繋がる基礎力を養い、応用基礎レベル科目への履修に繋げている。また、パンフレットへの掲載や学内掲示に加え、本学のWEBサイトトップ画面にプログラム専用ページへのリンクを掲載して、学生が情報を受け取りやすい環境を準備している。

自己点検・評価の視点	自己点検・評価体制における意見・結果・改善に向けた取組等
学外からの視点	
教育プログラム修了者の進路、活躍状況、企業等の評価	<p>本プログラムの修了学生は未輩出のため、進路・活躍状況、企業からの評価を把握できていない。県内の関係企業については定期的に教職員が訪問し、本学卒業生に関して評価の調査を実施しており、今後、本プログラム修了者についても状況把握を行う。</p>
産業界からの視点を含めた教育プログラム内容・手法等への意見	<p>本教育プログラムは、Society5.0社会において、文理を問わず必修とされる数理・データサイエンス・AIの基礎的知識及び応用スキルを身につけ、新しい価値創造や課題解決・社会貢献ができる人材の育成を目的としたものである。産業界においても、これからの地域社会の発展においては、このような資質・能力を備えた人材は欠かせないものと考えており、本プログラムの有用性について高く評価するとの意見をいただいている。</p> <p>産業界からは本プログラムの履修率を上げ、出来るだけ多くの学生がこれらの能力を身に付け、社会で活躍できる環境整備が必要ではないかとの意見もいただいております。本学では学生に対する広報活動を強化するとともに、次期の教育改革プログラムの改定時期に履修率の向上に向けて抜本的な改善を図ることとする。さらに、プログラムの内容・方法の改善については、本学の教育改革推進委員会の外部産業界等の委員の意見を聴きながら、社会・時代に合った改善を行うことを計画している。</p>
数理・データサイエンス・AIを「学ぶ楽しさ」「学ぶことの意義」を理解させること	<p>分野を問わず幅広い関心を育むため、日常生活における身近なAIとして用いられている事例を紹介し、学ぶ楽しさを喚起する工夫をしている。また、多分野の教員が本プログラムに参加し、学生が所属する学部・学科と関連したAI・データサイエンスを活用した事例を紹介することで、学習する意義を理解させ、学びへのモチベーションにつなげている。</p>
<p>内容・水準を維持・向上しつつ、より「分かりやすい」授業とすること</p> <p>※社会の変化や生成AI等の技術の発展を踏まえて教育内容を継続的に見直すなど、より教育効果の高まる授業内容・方法とするための取組や仕組みについても該当があれば記載</p>	<p>LMS(マナバコース)に教材を提供し、初学者であっても反復学習が可能となる仕組みを構築している。また、学生による授業評価アンケートの結果に対しては、授業担当者がフィードバックを行っている。特に、学生による授業評価の「満足度」「理解度」および自由記述から、学生の理解度等を把握して検討し、「分かりやすさ」の観点から授業改善につなげている。</p>

シラバス検索

検索条件設定 (特に明記のない限り、テキスト項目は中間一致検索)

開講年度	<input type="text" value="2024"/>			
講義コード	<input type="text" value="20015101"/>			
講義名称	<input type="text"/>	担当教員	<input type="text"/>	
講義副題	<input type="text"/>	科目分類名	<input type="text"/>	
学則科目名称	<input type="text"/>	対象学科	<input type="text"/>	
講義開講時期	<input type="text" value="選択なし"/>	対象年次	<input type="text"/>	
		キーワード	<input type="text"/>	
		ナンバリングコード	<input type="text"/>	

該当件数 1件 ( 1-1 件目を表示 )

<前ページ 1 次ページ>									
	講義コード ナンバリングコード	講義名称	講義副題	学則科目名称	講義区分	担当教員	科目分類名	対象学科	対象年次
<input type="button" value="選択"/>	20015101	AI・データサイエンス数理基礎	2年	AI・データサイエンス数理基礎	講義	池田 充郎			2年
<前ページ 1 次ページ>									

講義名	AI・データサイエンス数理基礎		
(副題)	2年		
開講責任部署	全学共通教育センター（大学）	代表ナンバリングコード	
講義開講時期	前期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	1時限
科目分類名			
対象学科			
対象年次	2年		

## 担当教員

職種	氏名	所属
教授（実務家教員：元情報通信会社社員）	◎ 池田 充郎	経営情報学部メディア情報学科
指定なし	稲倉 典子	経営情報学部経営情報学科
指定なし	細川 康輝	経営情報学部メディア情報学科
教授（実務家教員：元NTT職員）	長沼 次郎	経営情報学部メディア情報学科
指定なし	児島 知樹	全学共通教育センター

概略	<p>様々な種類のデータを処理・分析して、そこから有用な情報や価値を生み出すデータサイエンスや人工知能(AI)がこれまでに増して重要となってきている。本科目ではデータ・AIの利活用に必要な数理的な基礎の学修を始めて、データの観察、データ可視化、データ分析、分析設計の方法、アルゴリズムの基礎、プログラミングの基礎等について学修する。</p>
到達目標	<p>データ・AI利活用に必要とされる数理的な考え方を理解し、データ・AIを活用して課題解決につなげるための基礎能力を修得することを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データ駆動型社会においてデータサイエンスを学ぶことの意義を理解できる。</li> <li>・データを収集・処理・分析・可視化するための技術の概要を理解できる。</li> <li>・コンピュータでデータを扱うためのデータ表現の基礎を理解できる。</li> <li>・データの分析目的に応じて分析設計を行い、適切なデータ分析手法を選択できる。</li> <li>・データを活用した分析のプロセスを体験し、データ利活用の流れを理解できる。</li> </ul>
授業計画詳細 各回ごとのテーマと内容	<p>第1回 AI・データサイエンスの数理について (池田)          【はじめに】AI・データサイエンスの数理についてその意味と役割を学ぶ。          予習：シラバスを精読し、疑問点等を整理する。(90分)          復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第2回 データ駆動型社会とデータサイエンス (池田)          【1-1】データ駆動型社会とデータサイエンスの関連性について学ぶ。          予習：テキスト1.1の「データ駆動型社会とデータサイエンス」の項を読んで概要を理解する。(90分)          復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第3回 数理基礎 (池田)          【1-6】データ・AI利活用に必要な数理的な基礎を学ぶ。          予習：テキスト1.2の「数学基礎」の項を読んで概要を理解する。(90分)          復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第4回 分析設計 (池田)          【1-2】データ分析の進め方およびデータ分析の設計方法を学ぶ。          予習：テキスト1.3の「分析設計」の項を読んで概要を理解する。(90分)          復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第5回 データ観察 (池田)          【1-3】収集したデータの観察方法を学ぶ。          予習：テキスト1.4の「データ観察」の項を読んで概要を理解する。(90分)          復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第6回 データ可視化 (稲倉, 池田)</p>

	<p>【1-5】典型的なデータ可視化手法を学ぶ。          予習：テキスト1.5の「データ可視化」の項を読んで概要を理解する。(90分)          復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第7回 データ分析 (稲倉, 池田)</p> <p>【1-4】典型的なデータ分析手法を学ぶ。          予習：テキスト1.6の「データ分析」の項を読んで概要を理解する。(90分)          復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第8回 アルゴリズムの基礎 (長沼, 池田)</p> <p>【1-7】データ・AI利活用に必要なアルゴリズムの基礎を学ぶ。          予習：テキスト1.7の「アルゴリズム」の項を読んで概要を理解する。(90分)          復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第9回 ビッグデータとデータエンジニアリング (長沼, 池田)</p> <p>【2-1】ICT(情報通信技術)の進展とビッグデータについて学ぶ。          予習：テキスト2.1の「ビッグデータとデータエンジニアリング」の項を読んで概要を理解する。(90分)          復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第10回 データ表現 (池田, 児島)</p> <p>【2-2】コンピュータでデータを扱うためのデータ表現の基礎を学ぶ。          予習：テキスト2.3の「データ表現」を読んで概要を理解する。(90分)          復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第11回 プログラミング基礎 (池田, 児島)</p> <p>【2-7】データ・AI利活用に必要なプログラミングの基礎において関数や引数等について学ぶ。          予習：テキスト2.2の「プログラミング基礎」の項を読んで概要を理解する。(90分)          復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第12回 演習(データ収集・加工(1)) (細川, 池田)</p> <p>【実践演習】データの分析設計・収集・加工・分析について基本的な流れを学んだ上で、実データを対象としたPythonによる実践演習を行う。          初回では主に課題の設定と分析設計、データの収集を行う。          予習：演習資料を読んで概要を理解する。(90分)          復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第13回 演習(データ収集・加工(2)) (細川, 池田)</p> <p>【実践演習】演習第2回では主にデータの加工・分析を行う。          予習：演習資料を読んで概要を理解する。(90分)          復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第14回 データエンジニアリングで注意すべき点 (池田, 児島)</p> <p>【2-5】データの前処理、データの変換、欠損値・外れ値・異常値等の注意すべき点について学ぶ。          予習：テキスト2.5の「データ加工」の該当項を読んで概要を理解する。(90分)          復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第15回 まとめ (池田, 児島)</p> <p>【総括】AI・データサイエンスの数理基礎について学修を総括する。          予習：これまでの学修内容で理解が不十分な点を明らかにする。(90分)          復習：これまでの学修で学んだことをまとめる。(90分)</p> <p>(なお、詳細については変更となる場合があります)</p>
成績評価方法	毎回の授業の中で指示する課題のレポート(40%)、および、筆記試験(60%)で評価する。成績評価システム(絶対的相対評価)により評価する。
再評価の有無	有
事前学習 事後学習	<p>1. テキストまたは資料について必要に応じて次回までに読んで来る範囲を指定するので、指定された範囲を読んで概要を理解しておくこと。(90分)</p> <p>2. 授業においてレポート課題を課すので、指示に従って課題に取り組み、期限までにレポートを提出すること。(90分)</p> <p>なお、数理基礎やアルゴリズムの基礎、プログラミング基礎については学修の基盤となる項目ととらえ、習熟度合いに応じた補完のための課題に取り組むことを予定しています。</p> <p>また、演習としてGoogle Colabを利用したPythonプログラミングによるデータ実践演習を行います。学内ネットワークに接続可能なPCを用意するようにしてください。</p>
テキスト	「データサイエンス応用基礎」竹村彰通 他編著, 学術図書出版社(2024年5月発行予定) また、後期科目「AI・データサイエンス実践基礎」においても同じ書籍をテキストとして用いる予定です。
テキストISBN番号	978-4-7806-0715-4
オフィスアワー(授業相談)	池田：水曜日の昼休み(12:10-12:50) U409 稲倉：月曜日の昼休み(12:10-12:50) N502 細川：月曜日の昼休み(12:10-12:50) U206 長沼：月曜日の昼休み(12:10-12:50) U405

シラバス検索

検索条件設定 (特に明記のない限り、テキスト項目は中間一致検索)

開講年度	<input type="text" value="2024"/>			
講義コード	<input type="text" value="20015002"/>			
講義名称	<input type="text"/>	担当教員	<input type="text"/>	
講義副題	<input type="text"/>	科目分類名	<input type="text"/>	
学則科目名称	<input type="text"/>	対象学科	<input type="text"/>	
講義開講時期	<input type="text" value="選択なし"/>	対象年次	<input type="text"/>	
		キーワード	<input type="text"/>	
		ナンバリングコード	<input type="text"/>	

該当件数 1件 ( 1-1 件目を表示 )

<前ページ 1 次ページ>									
	講義コード ナンバリングコード	講義名称	講義副題	学則科目名称	講義区分	担当教員	科目分類名	対象学科	対象年次
<input type="button" value="選択"/>	20015002	AI・データサイエンス実践基礎	2年	AI・データサイエンス実践基礎	講義	長沼 次郎			2年
<前ページ 1 次ページ>									

講義名	AI・データサイエンス実践基礎		
(副題)	2年		
開講責任部署	全学共通教育センター（大学）	代表ナンバリングコード	
講義開講時期	後期	講義区分	講義
基準単位数	2	時間	30.00
代表曜日	金曜日	代表時限	4時限
科目分類名			
対象学科			
対象年次	2年		

## 担当教員

職種	氏名	所属
教授（実務家教員：元NTT職員）	◎ 長沼 次郎	経営情報学部メディア情報学科
指定なし	稲倉 典子	経営情報学部経営情報学科
指定なし	細川 康輝	経営情報学部メディア情報学科
教授（実務家教員：元情報通信会社社員）	池田 充郎	経営情報学部メディア情報学科
指定なし	児島 知樹	全学共通教育センター

概略	<p>様々な種類のデータを処理・分析して、そこから有用な情報・価値を生み出すデータサイエンスや人工知能(AI)がこれまでに増して重要となってきた。本科目では社会におけるAIの役割や機械学習、深層学習、生成AI、AIの構築と運用等、主にAIの基礎について学ぶとともに、実データを対象としたPythonによる演習に取り組むことにより実践的スキルの修得を目指す。</p>
到達目標	<p>データから意味を抽出し、現実の問題にフィードバックする能力、AI・データを活用して課題解決につなげる基礎能力を修得することを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>AIの歴史、代表的な成果物、技術背景や今後、AIが社会に受け入れられるために考慮すべき論点、AIを応用する際に求められるモラルや倫理について理解できる。</li> <li>機械学習、深層学習、生成AI等の基本的な概念を理解できる。</li> <li>複数のAI技術が組み合わされたAIサービス/システムの例を説明できる。</li> </ul>
授業計画詳細 各回ごとのテーマと内容	<p>第1回 AI・データサイエンスの実践について（池田）        【はじめに】AI・データサイエンスの実践とその基礎についてその意味と役割を学ぶ。        予習：シラバスを精読し、疑問点等を整理する。(90分)        復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第2回 AIの歴史と応用分野（池田）        【3-1】AIの歴史と活用領域の広がりについて学ぶ。        予習：テキスト3.1の「AIの歴史と応用分野」の項を読んで概要を理解する。(90分)        復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第3回 AIの倫理と社会（池田）        【3-2】AIが社会に受け入れられるために考慮すべき論点について学ぶ。        予習：テキスト3.2の「AIと社会」の項を読んで概要を理解する。(90分)        復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第4回 機械学習の基礎と展望（池田）        【3-3】機械学習の基本的な概念と手法について学ぶ。        予習：テキスト3.3の「機械学習の基礎と展望」の項を読んで概要を理解する。(90分)        復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第5回 予測・判断（池田）        【3-7】人間の知的活動（予測・判断）とAI技術について学ぶ。        予習：テキスト3.4の「機械学習による予測・判断」の項を読んで概要を理解する。(90分)        復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第6回 深層学習の基礎と展望（長沼、池田）        【3-4】実世界で進む深層学習の応用と革新について学ぶ。</p>

	<p>予習：テキスト3.5の「深層学習の基礎と発展」の項を読んで概要を理解する。(90分)  復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第7回 認識 (長沼, 池田)  【3-6】人間の知的活動(認識)とAI技術について学ぶ。  予習：テキスト3.6の「認識」の項を読んで概要を理解する。(90分)  復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第8回 言語・知識 (池田)  【3-8】人間の知的活動(言語・知識)とAI技術について学ぶ。  予習：テキスト3.7の「言語・知識」の項を読んで概要を理解する。(90分)  復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第9回 生成AIの基礎と展望 (長沼, 池田)  【3-5】生成AIの基礎的な概念を理解し、その応用について学ぶ。  予習：テキスト3.8の「生成AIの基礎と展望」の項を読んで概要を理解する。(90分)  復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第10回 AIの構築と運用 (長沼, 池田)  【3-10】AIの構築と運用について学ぶ。  予習：テキスト3.10の「AIの構築・運用」の項を読んで概要を理解する。(90分)  復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第11回 演習(1) (池田, 細川, 稲倉, 児島)  【実践演習】以下4回にわたり、AI・データの活用について基本的な流れを学んだ上で、Pythonを用いたPBL実践演習を行う。  初回では主にグループワークによりチームごとに課題の設定とデータの収集を行う。  予習：説明資料を読んで、その回の概要を理解する。(90分)  復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第12回 演習(2) (池田, 細川, 稲倉, 児島)  【実践演習】演習第2回ではチームごとにデータの分析と機械学習モデルの設計を行う。  予習：説明資料を読んで、その回の概要を理解する。(90分)  復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第13回 演習(3) (池田, 細川, 稲倉, 児島)  【実践演習】演習第3回ではチームごとに機械学習モデルの学習と評価を行う。  予習：説明資料を読んで、その回の概要を理解する。(90分)  復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第14回 演習(4) (池田, 細川, 稲倉, 児島)  【実践演習】演習第4回ではチームごとに結果の報告と改善の検討を行う。  予習：説明資料を読んで、その回の概要を理解する。(90分)  復習：授業で学んだことをまとめ、課題に取り組む。(90分)</p> <p>第15回 まとめ (池田, 児島)  【総括】AI・データサイエンスの実践基礎について学修を総括する。  予習：これまでの学修内容で理解が不十分な点を明らかにする。(90分)  復習：これまでの学修で学んだことをまとめる。(90分)  (詳細については変更となる場合があります)</p>
成績評価方法	毎回の授業の中で指示する課題のレポート(40%)、および、筆記試験(60%)で評価する。成績評価システム(絶対的相対評価)により評価する。
再評価の有無	有
事前学習 事後学習	<p>1. テキストについて必要に応じて次回までに読んで来る範囲を指定するので、指定された範囲を読んで概要を理解しておくこと。(90分)</p> <p>2. 授業においてレポート課題を課すので、指示に従って課題に取り組み、期限までにレポートを提出すること。(90分)</p> <p>なお、授業回後半ではAI・データの活用について基本的な流れを学んだ上で、Google Colabを利用したPythonによるデータ実践演習を行います。学内ネットワークに接続可能なPCを用意するようにしてください。</p>
テキスト	「データサイエンス応用基礎」竹村彰通 他編著, 学術図書出版社, 2024年8月発行.
テキストISBN番号	978-4-7806-0715-4
オフィスアワー(授業相談)	池田：水曜日の昼休み(12:10-12:50) U409 稲倉：月曜日の昼休み(12:10-12:50) N502 細川：月曜日の昼休み(12:10-12:50) U206 長沼：月曜日の昼休み(13:00-14:30) U405

全学共通教育センターからのお知らせ

## 四国大学 数理・データサイエンス・AI 教育プログラム

2024年度より【応用基礎レベル】がスタートします  
すべての学科・専攻が履修できます

文理を問わず社会で必須とされる数理・データサイエンス・AI  
の知識・スキルを身につけ将来の選択肢を広げましょう

### 重要ポイント

- ①数理・データサイエンス・AI 教育プログラム修了者には**修了証**が交付されます。
- ②リテラシーレベルは**文部科学省認定プログラム**です。
- ③本プログラムの成績優秀者には、大学から表彰状と**副賞**が授与されます。



### カリキュラム

【リテラシーレベル】 1年生から履修可能

授業科目	プログラム 必修科目	開講期
AI・データサイエンス入門	必修科目	後期・金4限
AIで変わる社会		前期・木1限
社会人基礎力入門	必修科目	
情報処理		

まずはリテラシー  
レベルから履修し  
よう！  
基礎から分かり  
やすく楽しく教え  
てくれます。

【応用基礎レベル】 2年生から履修可能

授業科目	プログラム 必修科目	開講期
AI・データサイエンス数理基礎	必修科目	前期・金1限
AI・データサイエンス実践基礎	必修科目	後期・金4限

リテラシーレベル  
を修了した人は  
応用基礎レベル  
に挑戦しよう！

希望者は全学共通科目の  
抽選申請をして登録ください。

お問い合わせ先 B館1階 全学共通教育センター  
TEL : 088-665-9650  
mail : zengaku-kk-center@shikoku-u.ac.jp

四 国 大 学  
履 修 要 綱

令和 6 年度入学生  
(2024年度)

文 学 部  
経営情報学部  
生活科学部  
看護学部



SHIKOKU UNIVERSITY  
四国大学

## はじめに

この冊子は、令和6年度入学生向けの履修要綱です。ここには、皆さんが入学してから卒業するまでの4年間に開講されるすべての科目が記載されています。

本学を卒業するには、規定の単位を修得しなくてはなりません。そのためには、年次ごとの開講科目から必要な科目を登録、受講し、単位を修得する必要があります。

また、免許・資格の取得には「免許・資格に関する科目」を登録、受講し、単位を修得する必要があります。

この履修要綱には、履修に関して留意しなければならない事項が記載されています。よく読んで、自分の希望に沿った遺漏のない履修計画を立ててください。

## 建学の精神

### 「全人的自立」

## 目的及び使命

本学は、教育基本法及び学校教育法の精神に則り、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究して、個性豊かで独創性に豊む有為な人間を育成し、もって文化の向上と人類の福祉に寄与することを目的とする。

(四国大学学則)

## 目 次

1. 四国大学における学修	1
3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、アドミッション・ポリシー）	
学位授与	
授業科目	
単位	
卒業要件	
早期卒業	
学期	
授業時間	
気象警報発表等に伴う臨時休講措置	
シラバス	
カリキュラムマップ	
カリキュラムツリー	
科目ナンバリング	
ループリック	
履修登録	
標準単位数	
履修単位の上限	
成績評価	
申請による単位の認定	
2. 四国大学スタンダード	17
3. 全学共通科目	21
4. 専門科目	25
文学部	26
日本文学科	27
書道文化学科	45
国際文化学科	58
経営情報学部	74
経営情報学科	75
メディア情報学科	96
生活科学部	116
人間生活科学科	117
健康栄養学科	146
児童学科	158
看護学部	181
看護学科	182
5. 地域教育関連科目	209
6. 外国人留学生科目	211

# 1. 四国大学における学修

### 3つのポリシー

本学では、建学の精神「全人的自立」の具現化のため、すべての学部・学科において、教育・研究上の目的及び教学に関する3つの方針を定めている。

#### ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

各学科の教育理念に基づき、どのような力を身に付けた学生に卒業を認定し、学位を授与するかを定めた基本方針。学生の学修の成果の目標となるもの。

#### カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

ディプロマ・ポリシーを達成するため、教育課程の編成、教育内容の実施方法、学修成果の評価をどのように行うのかを定めた基本方針。

#### アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

各学部・学科の教育理念、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づく教育内容等を踏まえ、どのような入学者を受け入れるかを定めた基本方針。

### 学位授与

本学の卒業者には、その学科に従って、次の学位を授与する。

学 部	学 科	学位の種類
文 学 部	日 本 文 学 科	学士（日本文学）
	書 道 文 化 学 科	学士（書道文化学）
	国 際 文 化 学 科	学士（国際文化学）
経営情報学部	経 営 情 報 学 科	学士（経営情報学）
	メ デ ィ ア 情 報 学 科	学士（メディア情報学）
生 活 科 学 部	人 間 生 活 科 学 科	学士（人間生活科学）
	健 康 栄 養 学 科	学士（保健栄養学）
	児 童 学 科	学士（児童学）
看 護 学 部	看 護 学 科	学士（看護学）

(四国大学学則 第42条)

## 授業科目

授業科目は下記に分類され、区分ごとに必修科目又は選択科目が定められている。

必修科目・・・必ず履修しなければならない科目。

選択科目・・・取得希望の免許・資格、また卒業後の進路などを考慮して、履修する科目。

全学共通科目		学生が自ら未来を形づくり、社会を生き抜く力を身に付ける科目	
専 門 科 目		学部・学科の教育方針に基づいた科目	
自由科目	免許資格科目	所属学科の免許資格科目	
		他学部・学科等の免許資格科目	
	他分野専門科目		学生の所属学部・学科等の専門科目と異なった分野の専門科目
	地域教育関連科目		学生自らが学内外での社会に対する貢献活動、ボランティア活動や自らのキャリア形成、就職活動の準備に役立つ地域の企業等を研究する活動を行い、定められた時間数を積み上げるにより授業科目の学修として単位を認定する科目
	外国人留学生科目		外国人留学生のための授業科目
	ダブルディグリープログラム科目		四国大学と湘潭大学とのダブルディグリープログラムに関する規則に定められた科目
	日本語教員養成課程科目		日本語教員養成課程において必修となる科目

(四国大学学則 第32条)

## 単位

1単位は、45時間の学修（授業時間+事前・事後学習）を必要とする内容をもって構成することとなり、授業の実施方法（講義、演習、実験・実習・実技）に応じて、単位の計算方法が定められている。

なお、単位を計算するうえでの1時間は45分とし、時間割上の1時限は2時間（90分）の授業として計算される。

実施方法	1単位の計算方法
講 義 ・ 演 習	15時間の授業をもって1単位とする。
実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	30～45時間の授業をもって1単位とする。

※芸術等の分野における個人指導による実技の授業又は、地域教育関連科目については、相応の時間の授業又は、活動をもって1単位とする。

(例) 2単位の講義・演習科目の場合

(授業2時間 + 事前・事後学習4時間) × 15回 = 2単位

事前学習 2時間 (90分)	授業時間 2時間 (90分)	事後学習 2時間 (90分)
-------------------	-------------------	-------------------

(四国大学学則 第34条)

## 卒業要件

### 在学期間

修業年限は4年とし、在学期間は、修業年限の2倍を超えることができない。ただし、休学した期間は、在学期間には含まれない。

(四国大学学則 第11条・第26条第3項)

### 卒業単位

卒業単位は、基本的に全学共通科目及び所属学科の専門科目（必修科目・選択科目）を履修し、修得するものとする。

文学部・経営情報学部・生活科学部（人間生活科学科を除く。）

全学共通科目	30単位以上	124単位以上
専門科目	76単位以上	
自由科目	18単位まで	

生活科学部人間生活科学科

全学共通科目	30単位以上	124単位以上
専門科目	64単位以上	
自由科目	30単位まで	

看護学部

全学共通科目	30単位以上	125単位以上
専門科目	95単位以上	

(注) 看護学部においては、自由科目の規定は適用しない。

### 卒業単位に算入できる自由科目

卒業単位にできる自由科目は18単位まで (生活科学部人間生活科学科においては30単位まで)	免許資格科目	18単位まで
	他分野専門科目	12単位まで (生活科学部人間生活科学科においては30単位まで)
	地域教育関連科目	
	外国人留学生科目	
	ダブルディグリープログラム科目	
日本語教員養成課程科目		

[備考]

- 他学部・学科等の免許資格科目の修得単位は、当該学生の卒業認定単位数に算入しない。
- 生活科学部人間生活科学科において養護教諭一種免許状取得のため、看護学部看護学科の免許資格科目を取得した場合は、所属学科の免許資格科目とみなす。

(四国大学学則 第40条)

(免許資格科目の修得単位の卒業認定単位数への算入に関する内規)

## 早期卒業

早期の卒業を望む者は、入学時からの通年GPAの値が3.80以上の場合に学則等及び学科単位に定められた資格要件に基づき許可するときがある。

(四国大学学業成績評価規則)

(四国大学学則 第40条の2)

### 3. 全学共通科目

## 全学共通科目

### 全学共通教育の教育目標

四国大学・四国大学短期大学部の全学共通教育は、これからの時代や社会に対応するために必要な教養を身に付け、基礎的な知識・技術を学び、コミュニケーション力や基礎学力を向上させ専門教育に向けての基盤作りと将来の進路選択に必要な能力・態度を育てることを目的としている。

また、本学の建学の精神「全人的自立」に基づき、卒業時に確実に身に付けてほしい3つの力「社会人基礎力」「自己教育力」「人間・社会関係力」を「四国大学スタンダード」として掲げ、全学共通教育及び専門教育が一体となって取り組むこととしている。

科目区分	授業科目の目的・ねらい
四国大学スタンダード基礎科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会生活を営む上で、人として必要とされる倫理観や道徳観を養う。</li> <li>・大学生に求められる常識や生活態度などを身に付ける。</li> </ul>
初年次・基礎教育科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校までに習得すべき基礎学力を補完し、高校から大学への円滑な移行を図る。</li> <li>・大学での学習に必要なアカデミックスキル（知識や技術）を身に付ける。</li> </ul>
キャリア科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学生が持つておくべき職業観、勤労観及び職業に関する知識を身に付ける。</li> <li>・自己の個性を理解し、主体的に進路を選択できる能力態度を身に付け、人生を設計する力を育む。</li> </ul>
教養科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高校までの学習で得た知識と、大学で修得する知識との関連付けと統合を図る。</li> <li>・科学や文化など人類の知の営みに触れることで、豊かな情操を涵養する。</li> </ul>
地域連携科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域社会で活躍できることを目指し、地域連携科目を通してその力を育む。</li> <li>・地域の課題を解決するための知識・技術を身に付ける。</li> </ul>
グローバル関連科目	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際化社会において活躍できることを目指し、語学や他国の知識を修得し異文化間でのコミュニケーション力を培う。</li> </ul>

### 卒業のために履修すべき全学共通科目及び単位数

全学共通科目			卒業要件単位数
必修	四国大学スタンダード基礎科目	社会人基礎力入門	18単位
		自己と社会・地域論	
		教養国語	
	初年次・基礎教育科目	初年次ゼミⅠ	
		初年次ゼミⅡ	
		大学入門	
キャリア科目	キャリア形成入門		
グローバル関連科目	英語Ⅰ		
	英語Ⅱ		
選択	四国大学スタンダード基礎科目	12単位以上	
	初年次・基礎教育科目		
	キャリア科目		
	教養科目		
	地域連携科目		
	グローバル関連科目		
卒業単位 30単位以上			

◎全学共通科目の一部について、四国大学短期大学部の学生と同一講義を受講する科目がある。

全学共通科目 開講予定科目一覧表

授 業 科 目 名		必修	選択	配当 年次	備 考
基礎 科目	社会人基礎力入門	2		1	
	自己と社会・地域論	2		1	
	教養国語	2		1	
	情報処理		2	1	※
基礎 教育 科目	初年次ゼミⅠ	2		1	
	初年次ゼミⅡ	2		1	
	大学入門	2		1	
	数学基礎		2	1	
	物理学基礎		2	1	
	化学基礎		2	1	
	生物学基礎		2	1	
科 キ ャ リ ア 目 ア	キャリア開発		2	3	
	インターンシップ		2	1	活動時間(60時間)により単位認定する
	キャリア形成入門	2		1	
	キャリア形成実践		2	1	
	ダイバーシティ・キャリアデザイン		2	1	
	徳島の魅力、徳島で働く		2	1	集中講義
教 養 科 目	言語と文化		2	2	
	心理学入門		2	1	※
	日本の歴史と思想		2	2	
	西洋の歴史と思想		2	2	
	東洋の歴史と思想		2	1	
	ヨーロッパ・アメリカ研究		2	2	
	現代の新たな文化		2	1	
	日本国憲法		2	1	
	世界の中の日本経済		2	1	
	現代社会と人権		2	1	
	A I・データサイエンス入門		2	1	
	A I・データサイエンス数理基礎		2	2	
	A I・データサイエンス実践基礎		2	2	
	A Iで変わる社会		2	1	
	自然科学の進歩		2	1	
	環境と人間		2	2	
	生命と倫理		2	1	
	健康と科学		2	2	
	健康スポーツ		2	1	
	スポーツ科学		2	1	
地 域 連 携 科 目	地域未来探求		2	1	
	地域創生入門		2	2	
	徳島の歴史と文化		2	1	
	四国いやしの道		2	2	
	災害と防災		2	1	
	消費者市民社会		2	1	
グ ロ ー バ ル 関 連 科 目	英語Ⅰ	2		1	
	英語Ⅱ	2		1	
	英語コミュニケーション		2	2	
	キャリア英語(英検)		2	2	
	キャリア英語(TOEIC)		2	2	
	中国語Ⅰ		2	1	
	中国語Ⅱ		2	1	
	中国語Ⅲ		2	2	
	中国語Ⅳ		2	2	
	中国語Ⅴ(DDP)		2	2	集中講義
	中国語Ⅵ(DDP)		2	2	集中講義
	韓国語Ⅰ		2	1	
	韓国語Ⅱ		2	1	
	フランス文化と言語		2	2	
ドイツ文化と言語		2	2		
多文化共生入門		2	1		

〔備考〕看護学部は備考欄※印の科目を必修とする。

## 4. 專門科目

# 日本文学科 (日本文学コース)

区分	1 年				2 年								
	前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間	
全学共通科目	社会人基礎力入門	2	2	自己と社会・地域論	2	2							
	初年次ゼミ I	2	2	教養国語	2	2							
	大学入門	2	2	初年次ゼミ II	2	2							
	英語 I	2	2	キャリア形成入門	2	2							
	選択科目	2	2	英語 II	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	
	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	
学科基礎科目	文章表現法 I	2	2	文章表現法 II	2	2	日本文学概説	2	2	ことば・文化・人間	2	2	
	基礎日本語学 I (国語表現法を含む)	2	2	(評論を含む)			日本文化史概説	2	2				
	古典文学史	2	2	基礎日本語学 II (音声言語を含む)	2	2							
	近現代文学史	2	2	基礎講読古典文学	2	2							
	基礎日本史	2	2	基礎講読近現代文学	2	2							
	古文・漢文講読	2	2										
	日本語学						日本文法論	2	2	日本語史	2	2	
	日本文学						古典文学演習 I 近代文学演習	2	2	古典文学演習 II 近代文学講読 (児童文学を含む)	2	2	
	漢文学			中国文学講読	2	2	中国文学研究	2	2				
	文芸創作									文芸創作 I (小説)	2	2	
日本文化史	日本文化史						古文書学	2	2	史料講読演習 日本美術史	2	2	
	比較文化								仏教文化演習	2	2		
文学・文化史 横断科目									日本・中国の神話と伝承	2	2		
キャリア教育			日本語情報処理 I	2	2	日本語情報処理 II アナウンス・朗読法	2	2					
専門・卒業研究													
科目数	12			13			11			11			
単位数	24			26			22			22			
時間数	24			26			22			22			
免許資格科目	中学校教諭 一種免許状 (国語)	楷書法 行書法	1 1	2 2						教職基礎 特別活動 介護等体験事前事後指導	2 2 2	2 2 2	
	高等学校教諭 一種免許状 (国語・書道)								特別支援教育基礎論	2	2		
	図書館司書	生涯学習概論 図書館概論	2 2	2 2	図書館サービス概論	2	2	図書館情報資源概論 情報サービス論 情報サービス演習 I	2 2 1	2 2 2	図書館基礎特論 (集中) 図書・図書館史 (集中) 情報サービス演習 II	1 1 1	1 1 2
	学校図書館司書教諭						図書館情報資源概論	2	2				
	学校司書				学校図書館サービス論	2	2	図書館情報資源概論 情報サービス論 情報サービス演習 I 情報サービス演習 II (集中)	2 2 1 1	2 2 2 2	特別支援教育基礎論	2	2
	博物館学芸員	生涯学習概論 博物館概論 博物館資料保存論 (集中)	2 2 2	2 2 2						博物館資料論 博物館展示論 (集中) 博物館教育論 (集中)	2 2 2	2 2 2	
	日本語教員 養成課程				日本語教育学概論	2	2	言語学概論	2	2	日本語音声学・音韻論 日本語教育文法論	2 2	2 2

(備考) 赤字は必修科目を示す。



# 日本文学科 (日本文化史コース)

区分	1 年				2 年								
	前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間	
全学共通科目	社会人基礎力入門	2	2	自己と社会・地域論 教養国語	2	2							
	初年次ゼミ I	2	2	初年次ゼミ II	2	2							
	大学入門	2	2	キャリア形成入門	2	2							
	英語 I	2	2	英語 II	2	2							
	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	
	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	
専門科目	学科基礎科目	文章表現法 I	2	2	文章表現法 II	2	2	日本文化史概説	2	2	ことば・文化・人間	2	2
		基礎日本語学 I (国語表現法を含む)	2	2	(評論を含む) 基礎日本語学 II (音声言語を含む)	2	2	日本文学概説	2	2			
		古典文学史	2	2	基礎講読古典文学	2	2						
		近現代文学史	2	2	基礎講読近現代文学	2	2						
		基礎日本史	2	2									
		古文・漢文講読	2	2									
	日本語学						日本文法論	2	2	日本語史	2	2	
	日本文学	日本文学						古典文学演習 I 近代文学演習	2	2	古典文学演習 II 近代文学講読 (児童文学を含む)	2	2
		漢文学			中国文学講読	2	2	中国文学研究	2	2			
	日本文化史	文芸創作									文芸創作 I (小説)	2	2
日本文化史							古文書学	2	2	史料講読演習 日本美術史	2	2	
比較文化									仏教文化演習 アジア文化論	2	2		
文学・文化史 横断科目									日本・中国の神話と伝承	2	2		
キャリア教育				日本語情報処理 I	2	2	日本語情報処理 II アナウンス・朗読法	2	2				
専門・卒業研究													
科目数	12			13			11			12			
単位数	24			26			22			24			
時間数	24			26			22			24			
免許資格科目	中学校教諭 一種免許状 (国語)	楷書法	1	2						教職基礎	2	2	
		行書法	1	2						特別活動 介護等体験事前事後指導	2	2	
	高等学校教諭 一種免許状 (国語・書道)									特別支援教育基礎論	2	2	
	図書館司書	生涯学習概論	2	2	図書館サービス概論	2	2	図書館情報資源概論	2	2	図書館基礎特論 (集中)	1	1
		図書館概論	2	2				情報サービス論	2	2	図書・図書館史 (集中)	1	1
							情報サービス演習 I	1	2	情報サービス演習 II	1	2	
学校図書館司書教諭							図書館情報資源概論	2	2				
学校司書				学校図書館サービス論	2	2	図書館情報資源概論	2	2	特別支援教育基礎論	2	2	
							情報サービス論	2	2				
							情報サービス演習 I	1	2				
							情報サービス演習 II (集中)	1	2				
博物館学芸員	生涯学習概論	2	2							博物館資料論	2	2	
	博物館概論	2	2							博物館展示論 (集中)	2	2	
	博物館資料保存論 (集中)	2	2							博物館教育論 (集中)	2	2	
日本語教員 養成課程				日本語教育学概論	2	2	言語学概論	2	2	日本語音声学・音韻論	2	2	
										日本語教育文法論	2	2	

(備考) 赤字は必修科目を示す。



# 書道文化学科

区分	1 年				2 年								
	前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間	
全学共通科目	社会人基礎力入門	2	2	自己と社会・地域論 教養国語	2	2							
	初年次ゼミⅠ	2	2	初年次ゼミⅡ	2	2							
	大学入門	2	2	キャリア形成入門	2	2							
	英語Ⅰ	2	2	英語Ⅱ	2	2							
	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	
	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	
学科基礎科目	書道概論	2	2	日本書道史	2	2				ことば・文化・人間	2	2	
	中国書道史	2	2	漢字書法Ⅰ（篆刻）	1	2	創作書法Ⅰ（仮名）	1	2	創作書法Ⅰ（漢字）	1	2	
	漢字書法Ⅰ（楷書）	1	2	漢字書法Ⅰ（隷書）	1	2	漢字書法Ⅰ（草書）	1	2				
	漢字書法Ⅰ（行書）	1	2	古文講読	2	2							
	篆刻法Ⅰ	1	2	漢文基礎	2	2							
	仮名書法Ⅰ	1	2										
書道の技法				硬筆書法	1	2	漢字書法Ⅱ（楷書・隷書）	2	2	漢字書法Ⅱ（行書・草書）	2	2	
	展覧会作品制作法Ⅰ	1	2				篆刻法Ⅱ	1	2	漢字書法Ⅱ（篆書）	1	2	
書道の歴史・文化							仮名書法Ⅱ	1	2				
							展覧会作品制作法Ⅱ	1	2				
書道に関する日本語・漢文	基礎日本語Ⅰ （国語表現法を含む）	2	2	基礎日本語Ⅱ （音声言語を含む）	2	2	文字学概説	2	2	書写教育概論	2	2	
	日本文学概説	2	2				古典文学史	2	2	日本語史	2	2	
生活に活かす書道				水墨画法（集中）	1	2	近現代文学史	2	2	基礎講読古典文学	2	2	
							デザイン書道（集中）	2	2	基礎講読近現代文学	2	2	
専門・卒業科目							色彩学	2	2	アート書道	1	2	
科目数	15			15			16			13			
単位数	25			26			27			23			
時間数	30			30			32			26			
免許資格科目	中学校教諭 一種免許状 （国語）									教職基礎	2	2	
	高等学校教諭 一種免許状 （国語・書道）									特別活動	2	2	
	図書館司書	生涯学習概論	2	2	図書館サービス概論	2	2	図書館情報資源概論	2	2	介護等体験事前事後指導	2	2
		図書館概論	2	2				情報サービス論	2	2	特別支援教育基礎論	2	2
	学校図書館司書教諭						情報サービス演習Ⅰ	1	2	書道科指導法（基礎）	2	2	
	学校司書				学校図書館サービス論	2	2	図書館情報資源概論	2	2			
							情報サービス論	2	2				
博物館学芸員	生涯学習概論	2	2				情報サービス演習Ⅰ	1	2				
	博物館概論	2	2				情報サービス演習Ⅱ（集中）	1	2	博物館資料論	2	2	
日本語教員 養成課程	博物館資料保存論（集中）	2	2							博物館展示論（集中）	2	2	
				日本語教育学概論	2	2	言語学概論	2	2	博物館教育論（集中）	2	2	

（備考）赤字は必修科目を示す。

3年				4年				科目数	単位数	時間数	備考				
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位					時間	後期	単位	時間
選択科目	2	2											必修科目 (18単位)を 含め30単位 以上修得 すること。		
選択科目	2	2													
漢字仮名交じり書法Ⅰ(集中)	1	2											19	38	38
創作書法Ⅱ(漢字)	1	2	漢字仮名交じり書法Ⅱ(集中)	1	2										
創作書法Ⅱ(仮名)	1	2	漢字書法Ⅲ(五書体)	2	2										
篆刻演習	1	2	仮名書法Ⅲ	1	2								16	19	32
展覧会作品制作法Ⅲ	1	2	篆隸作品制作法(集中)	1	2										
鑑賞(書論を含む)	2	2	書道表現論(集中)	2	2			日本美術史	2	2			6	12	12
						日中比較文化演習	2	2							
中国文学演習	2	2	近代文学演習	2	2								15	30	30
実用書法	1	2	書道塾の経営と社会	2	2			グローバル書道 表装技法 紙の製作と加工 書と工芸 コンピュータアート研究	2 1 1 1 2	2 2 2 2 2			11	16	22
専門研究Ⅰ	2	2	専門研究Ⅱ	2	2	卒業研究Ⅰ	2	2	卒業研究Ⅱ	2	2		4	8	8
11			8			2		7					87		
16			13			4		11					145		
22			16			4		14					174		
教育原論	2	2	教育心理学	2	2	教育経営論	2	2	教職実践演習(中・高)	2	2				
教育課程論	2	2	教育の方法及び技術	2	2	教育実習Ⅰ	2	6							
国語科指導法Ⅰ	2	2	国語科指導法Ⅲ	2	2	教育実習Ⅱ	2	6							
国語科指導法Ⅱ	2	2	国語科指導法Ⅳ	2	2	教育実習Ⅲ	1	1					24	47	55
書道科指導法Ⅰ	2	2	書道科指導法Ⅱ	2	2										
道德教育	2	2	教育相談	2	2										
生徒指導論(進路指導を含む)	2	2	総合的な学習の時間	2	2										
図書館情報技術論	2	2	情報資源組織論 図書館制度・経営論	2 2	2 2	情報資源組織演習Ⅰ 児童サービス論	1 2	2 2	情報資源組織演習Ⅱ	1	2		15	24	28
			情報資源組織論	2	2	学校経営と学校図書館 学習指導と学校図書館	2 2	2 2	読書と豊かな人間性 情報メディアの活用	2 2	2 2		6	12	12
図書館情報技術論	2	2	情報資源組織論	2	2	情報資源組織演習Ⅰ	1	1	情報資源組織演習Ⅱ	1	1				
教育原論	2	2	教育心理学	2	2	学校経営と学校図書館 学習指導と学校図書館	2 2	2 2	読書と豊かな人間性	2	2		16	28	30
教育課程論	2	2													
博物館情報・メディア論	2	2	博物館経営論	2	2	博物館実習Ⅰ 博物館実習Ⅱ 博物館実習Ⅲ	1 1 1	1 3 1					11	19	21
日本語の表記と語彙	2	2	異文化間教育論	2	2	日本語教授法演習	2	2							
日本語教育方法論	2	2	日本語教授法	2	2	社会言語学・語用論	2	2					12	24	24
第二言語習得論	2	2				日本語教育実践									
										2	2				

取得可能な資格等 ●高等学校教諭一種免許状(書道) ●高等学校教諭一種免許状(国語) ●日本語教員資格 ●博物館学芸員資格  
●中学校教諭一種免許状(国語) ●図書館司書 ●学校図書館司書教諭 ●学校司書(四国大学認定資格)

## 国際文化学科（国際文化コース）

区分	1年				2年							
	前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間
<b>全学共通科目</b> <span style="background-color: yellow;">全学共通科目</span>	社会人基礎力入門	2	2	自己と社会・地域論 教養国語	2	2						
	初年次ゼミ I	2	2	初年次ゼミ II	2	2						
	大学入門	2	2	キャリア形成入門	2	2						
	英語 I	2	2	英語 II	2	2						
	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2
	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2
<b>専門科目</b> 学科基礎科目  国際英語  国際文化  資格・キャリア・教育  専門・卒業科目	English for Communication I	2	2	English for Communication II	2	2	Speech and Presentation	2	2	ことば・文化・人間	2	2
	基礎ゼミナール I	2	2	基礎ゼミナール II 留学前教育	2	2	基礎ゼミナール III	2	2	English for Communication III 基礎ゼミナール IV	2	2
	Listening I	2	2	Listening II	2	2	Reading II	2	2	英語学入門	2	2
	Speaking I	2	2	Speaking II	2	2	Writing II	2	2			
	Reading I	2	2	Writing I	2	2						
	英語基礎	2	2									
	国際文化入門	2	2	アメリカ文化論	2	2	国際ボランティア・国際平和論	2	2	アジア文化論	2	2
							イギリス文化論	2	2	国際文化研修	2	2
							英米文学入門	2	2	民族とジェンダー	2	2
							韓国の言語と文化	2	2			
資格英語演習・基礎				2	2				資格英語演習・応用	2	2	
科目数	13			15			10			10		
単位数	26			30			20			20		
時間数	26			30			20			20		
<b>免許資格科目</b> 中学校・高等学校 一種免許状 (英語)										教職基礎	2	2
										特別活動	2	2
日本語教員養成課程				日本語教育学概論	2	2	言語学概論	2	2	介護等体験事前事後指導	2	2
										特別支援教育基礎論	2	2
										日本語音声学・音韻論	2	2
										日本語教育文法論	2	2

(備考) (1) 赤字は必修科目を示す。

(2) 学校図書館司書教諭資格の取得については、英語コミュニケーションコースのカリキュラムマップを参照すること。

3年						4年						科目数	単位数	時間数	備考	
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間					
													17	34	34	必修科目 (18 単位) を含め 30 単位以上 修得すること。
													10	20	20	
Discussion	2	2	Debate Global Issues (世界が抱える問題)	2	2				通訳・翻訳法	2	2		14	28	28	
Comparative Culture	2	2	国際関係と社会	2	2	Cross-Cultural Communication	2	2								
西洋の思想と文化	2	2	グローバル社会における メディア	2	2	世界文学鑑賞	2	2					18	34	34	
英米文学と文化の流れ	2	2	マイノリティと表象	2	2											
幼児英語教育	2	2	ホテル & ツーリズムⅡ	2	2											
ホテル & ツーリズムⅠ	2	2											6	12	12	
			小学校英語教育	2	2											
専門ゼミナールⅠ	2	2	専門ゼミナールⅡ	2	2	卒業研究Ⅰ	2	2	卒業研究Ⅱ	2	2		4	8	8	
7			8			3			2						68	
14			16			6			4						136	
14			16			6			4						136	
教育原論	2	2	教育心理学	2	2	教育経営論	2	2	教職実践演習 (中・高)	2	2					
教育課程論	2	2	教育の方法及び技術	2	2	教育実習Ⅰ	2	6								
英語教育Ⅰ (英語科指導法)	2	2	英語教育Ⅲ (英語科指導法)	2	2	教育実習Ⅱ	2	6					21	41	49	
英語教育Ⅱ (英語科指導法)	2	2	英語教育Ⅳ (英語科指導法)	2	2	教育実習Ⅲ	1	1								
道德教育	2	2	教育相談	2	2											
生徒指導論 (進路指導を含む。)	2	2	総合的な学習の時間	2	2											
日本語の表記と語彙	2	2	異文化間教育論	2	2	日本語教授法演習	2	2								
日本語教育方法論	2	2	日本語教授法	2	2	社会言語学・語用論	2	2					12	24	24	
第二言語習得論	2	2				日本語教育実践				2	2					

取得可能な資格等 ●高等学校教諭一種免許状 (英語) ●中学校教諭一種免許状 (英語) ●学校図書館司書教諭資格  
●小学校英語指導者 (四国大学認定資格) ●日本語教員資格

## 国際文化学科（英語コミュニケーションコース）

区分	1年				2年							
	前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間
全学共通科目	社会人基礎力入門	2	2	自己と社会・地域論	2	2						
				教養国語	2	2						
	初年次ゼミ I	2	2	初年次ゼミ II	2	2						
	大学入門	2	2	キャリア形成入門	2	2						
	英語 I	2	2	英語 II	2	2						
	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2
	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2
学科基礎科目	English for Communication I	2	2	English for Communication II	2	2	Speech and Presentation	2	2	ことば・文化・人間	2	2
										English for Communication III	2	2
	基礎ゼミナール I	2	2	基礎ゼミナール II	2	2	基礎ゼミナール III	2	2	基礎ゼミナール IV	2	2
				留学前教育	2	2						
国際英語	Listening I	2	2	Listening II	2	2	Reading II	2	2	Dream in English	2	2
	Speaking I	2	2	Speaking II	2	2	Writing II	2	2	英語学入門	2	2
	Reading I	2	2	英文法 I	2	2	英文法 II	2	2	Writing III	2	2
	英語基礎	2	2	Writing I	2	2						
国際文化	国際文化入門	2	2	アメリカ文化論	2	2	国際ボランティア・国際平和論	2	2	国際文化研修	2	2
	Japanese Culture	2	2				イギリス文化論	2	2			
						英米文学入門	2	2				
資格・キャリア・教育				資格英語演習・基礎	2	2				資格英語演習・応用	2	2
専門・卒業科目												
科目数	14			16			10			10		
単位数	28			32			20			20		
時間数	28			32			20			20		
免許資格科目	学校図書館司書教諭											
	日本語教員養成課程			日本語教育学概論	2	2	言語学概論	2	2	日本語音声学・音韻論	2	2
										日本語教育文法論	2	2

(備考) (1) 赤字は必修科目を示す。

(2) 教員免許状取得については、国際文化コースのカリキュラムマップを参照すること。

3年						4年						科目数	単位数	時間数	備考	
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間					
													17	34	34	必修科目(18単位)を含め30単位以上修得すること。
													10	20	20	
Discussion Communication Skills	2 2	2 2	Academic English Debate Global Issues (世界が抱える問題) 英語音声学	2 2 2 2	2 2 2 2	映画と音楽で学ぶ英語	2 2	2 2	通訳・翻訳法	2 2	2 2		22	44	44	
													7	14	14	
幼児英語教育 ホテル＆ツーリズムⅠ	2 2	2 2	小学校英語教育 ホテル＆ツーリズムⅡ	2 2	2 2				Advanced English	2 2	2 2		7	14	14	
専門ゼミナールⅠ	2	2	専門ゼミナールⅡ	2	2	卒業研究Ⅰ	2	2	卒業研究Ⅱ	2	2		4	8	8	
5			7			2			3				67			
10			14			4			6				134			
10			14			4			6				134			
						学校経営と学校図書館 学校指導と学校図書館	2 2	2 2	学校図書館メディアの構成 読書と豊かな人間性 情報メディアの活用	2 2 2	2 2 2		5	10	10	
日本語の表記と語彙 日本語教育方法論 第二言語習得論	2 2 2	2 2 2	異文化間教育論 日本語教授法	2 2	2 2	日本語教授法演習 社会言語学・語用論 日本語教育実践	2 2 2	2 2 2					12	24	24	

取得可能な資格等 ●高等学校教諭一種免許状(英語) ●中学校教諭一種免許状(英語) ●学校図書館司書教諭資格  
●小学校英語指導者(四国大学認定資格) ●日本語教員資格

## 経営情報学科（ビジネス経営コース）

区分	1年				2年				
	前期	単位 時間	後期	単位 時間	前期	単位 時間	後期	単位 時間	
全学共通科目	社会人基礎力入門	2 2	自己と社会・地域論	2 2					
	教養国語	2 2							
	初年次ゼミⅠ	2 2	初年次ゼミⅡ	2 2					
	大学入門	2 2	キャリア形成入門	2 2					
	英語Ⅰ	2 2	英語Ⅱ	2 2					
	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	
	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	
専門科目	経営	2 2	経営学総論Ⅱ	2 2	経営管理論	2 2	経営組織論	2 2	
							事業創造論	2 2	
							経営史	2 2	
							金融論	2 2	
	会計	2 2	簿記論Ⅱ	2 2	財務諸表論Ⅰ	2 2	財務諸表論Ⅱ	2 2	
			租税法	2 2	原価計算論Ⅰ	2 2	原価計算論Ⅱ	2 2	
	流通・マーケティング	2 2	流通論	2 2	マーケティング論Ⅰ	2 2	マーケティング論Ⅱ	2 2	
公共・地域経営		マクロ経済学	2 2	ミクロ経済学	2 2				
情報リテラシー	2 2						経営情報システム論	2 2	
			AIと経営情報学	2 2	情報科学概論Ⅰ	2 2	情報科学概論Ⅱ	2 2	
職業指導									
演習・卒業研究	2 2	フレッシュャーズゼミⅠ	2 2	フレッシュャーズゼミⅡ	2 2	演習Ⅰ	2 2	演習Ⅱ	2 2
科目数	12		13		10		12		
単位数	24		26		20		24		
時間数	24		26		20		24		
免許資格科目							教職基礎	2 2	
							特別活動	2 2	
							特別支援教育基礎論	2 2	

（備考）赤字は必修科目を示す。

3年					4年					科目数	単位数	時間数	備考			
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期					単位	時間	
選択科目 (キャリア開発)	2	2											18	36	36	必修科目 (18 単位) を含め 30 単位以上 修得すること。
経営者論	2	2	経営戦略論	2	2	産業社会論	2	2								
国際経営論	2	2	データサイエンス基礎	2	2				ビジネス実務総論	2	2		18	36	36	
経営統計学	2	2	会社法	2	2											
			生産システム論	2	2											
			人事労務管理論	2	2											
			地域産業経営論	2	2											
			会計情報論	2	2								8	16	16	
													5	10	10	
													2	4	4	
			情報社会論	2	2				プレゼンテーション演習	2	2		7	14	14	
						職業指導	2	2					1	2	2	
演習Ⅲ	2	2	演習Ⅳ	2	2	卒業研究Ⅰ	2	2	卒業研究Ⅱ	2	2		8	16	16	
5			9			3			3				67			
10			18			6			6				134			
10			18			6			6				134			
教育原論	2	2	教育心理学	2	2	教育経営論	2	2	教職実践演習 (中・高)	2	2					
教育課程論	2	2	教育の方法及び技術	2	2	教育実習Ⅱ	2	6								
商業科指導法Ⅰ	2	2	商業科指導法Ⅱ	2	2	教育実習Ⅲ	1	1								
情報科指導法Ⅰ	2	2	情報科指導法Ⅱ	2	2								18	35	39	
生徒指導論 (進路指導を含む。)	2	2	教育相談	2	2											
			総合的な学習の時間	2	2											

取得可能な資格等 ●高等学校教諭一種免許状 (商業)  
●高等学校教諭一種免許状 (情報)

## 経営情報学科（流通マネジメントコース）

区分	1年				2年				
	前期	単位 時間	後期	単位 時間	前期	単位 時間	後期	単位 時間	
全学共通科目	社会人基礎力入門	2 2	自己と社会・地域論	2 2					
	教養国語	2 2							
	初年次ゼミ I	2 2	初年次ゼミ II	2 2					
	大学入門	2 2	キャリア形成入門	2 2					
	英語 I	2 2	英語 II	2 2					
	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	
	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	
専門科目	経営	経営学総論 I	2 2	経営学総論 II	2 2	経営管理論	2 2	経営組織論	2 2
								事業創造論	2 2
								金融論	2 2
	会計	簿記論 I	2 2	簿記論 II	2 2	財務諸表論 I	2 2	財務諸表論 II	2 2
	流通・マーケティング			流通論	2 2	マーケティング論 I	2 2	マーケティング論 II	2 2
		商学総論	2 2			販売管理論	2 2		
	公共・地域経営			マクロ経済学	2 2	ミクロ経済学	2 2		
情報リテラシー	パソコン基礎演習							ICT活用論	2 2
				AIと経営情報学	2 2	情報科学概論 I	2 2	経営情報システム論	2 2
職業指導							情報科学概論 II	2 2	
演習・卒業研究	フレッシュアーズゼミ I	2 2	フレッシュアーズゼミ II	2 2	演習 I	2 2	演習 II	2 2	
科目数	12		12		9		11		
単位数	24		24		18		22		
時間数	24		24		18		22		
免許資格科目							教職基礎	2 2	
							特別活動	2 2	
							特別支援教育基礎論	2 2	

(備考) 赤字は必修科目を示す。

3年					4年					科目数	単位数	時間数	備考			
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期					単位	時間	
選択科目(キャリア開発)	2	2											18	36	36	必修科目(18単位)を含め30単位以上修得すること。
経営者論	2	2	経営戦略論	2	2				ビジネス実務総論	2	2					
国際経営論	2	2	データサイエンス基礎	2	2								14	28	28	
経営統計学	2	2	会社法	2	2											
			地域産業経営論	2	2											
													4	8	8	
流通システム	2	2	消費者行動論	2	2	マーケティング演習	2	2					9	18	18	
インターネットビジネス	2	2														
地域経営論	2	2	地域産業論	2	2	地域創生論	2	2					5	10	10	
													7	14	14	
													2	2	2	
						職業指導	2	2					1	2	2	
演習Ⅲ	2	2	演習Ⅳ	2	2	卒業研究Ⅰ	2	2	卒業研究Ⅱ	2	2		8	16	16	
8			7			4			3				66			
16			14			8			6				132			
16			14			8			6				132			
教育原論	2	2	教育心理学	2	2	教育経営論	2	2	教職実践演習(中・高)	2	2					
教育課程論	2	2	教育の方法及び技術	2	2	教育実習Ⅱ	2	6								
商業科指導法Ⅰ	2	2	商業科指導法Ⅱ	2	2	教育実習Ⅲ	1	1								
情報科指導法Ⅰ	2	2	情報科指導法Ⅱ	2	2								18	35	39	
生徒指導論(進路指導を含む。)	2	2	教育相談	2	2											
			総合的な学習の時間	2	2											

取得可能な資格等 ●高等学校教諭一種免許状(商業)  
●高等学校教諭一種免許状(情報)

## 経営情報学科（公共・地域経営コース）

区分	1年				2年			
	前期	単位 時間	後期	単位 時間	前期	単位 時間	後期	単位 時間
<u>全学共通科目</u>	社会人基礎力入門	2 2	自己と社会・地域論	2 2				
	教養国語	2 2						
	初年次ゼミⅠ	2 2	初年次ゼミⅡ	2 2				
	大学入門	2 2	キャリア形成入門	2 2				
	英語Ⅰ	2 2	英語Ⅱ	2 2				
	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2
	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2
専門科目	経営	2 2	経営学総論Ⅱ	2 2	経営管理論	2 2	経営組織論 経営史	2 2 2 2
	会計	2 2	簿記論Ⅱ 租税法	2 2 2 2				
	流通・ マーケティング	2 2	流通論	2 2				
	公共・地域経営		マクロ経済学	2 2	ミクロ経済学 財政学 行政学 憲法	2 2 2 2 2 2 2 2	民法 行政法	2 2 2 2
	スポーツビジネス						スポーツと社会	2 2
	情報リテラシー	2 2	AIと経営情報学	2 2	情報科学概論Ⅰ	2 2	経営情報システム論 情報科学概論Ⅱ	2 2 2 2
	職業指導							
演習・卒業研究	2 2	フレッシュャーズゼミⅡ	2 2	演習Ⅰ	2 2	演習Ⅱ	2 2	
科目数	12		13		9		10	
単位数	24		26		18		20	
時間数	24		26		18		20	
免許資格科目							教職基礎	2 2
							特別活動	2 2
							特別支援教育基礎論	2 2

（備考）赤字は必修科目を示す。

3年					4年					科目数	単位数	時間数	備考			
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期					単位	時間	
選択科目（キャリア開発）	2	2											18	36	36	必修科目（18単位）を含め30単位以上修得すること。
経営者論	2	2	経営戦略論	2	2	産業社会論	2	2								
経営統計学	2	2	地域産業経営論	2	2									10	20	20
														2	4	4
														2	4	4
地方自治論	2	2	地域産業論	2	2	地域協働論	2	2								
経済政策論	2	2				地域創生論	2	2								
政治学（国際政治を含む。）	2	2				地方財政論	2	2						16	32	32
地域経営論	2	2														
地域スポーツ論	2	2				生涯スポーツ論	2	2						3	6	6
														7	14	14
			情報社会論	2	2				プレゼンテーション演習	2	2					
						職業指導	2	2						1	2	2
演習Ⅲ	2	2	演習Ⅳ	2	2	卒業研究Ⅰ	2	2	卒業研究Ⅱ	2	2		8	16	16	
9			5			7			2					67		
18			10			14			4					134		
18			10			14			4					134		
教育原論	2	2	教育心理学	2	2	教育経営論	2	2	教職実践演習（中・高）	2	2					
教育課程論	2	2	教育の方法及び技術	2	2	教育実習Ⅱ	2	6								
商業科指導法Ⅰ	2	2	商業科指導法Ⅱ	2	2	教育実習Ⅲ	1	1								
情報科指導法Ⅰ	2	2	情報科指導法Ⅱ	2	2									18	35	39
生徒指導論（進路指導を含む。）	2	2	教育相談	2	2											
			総合的な学習の時間	2	2											

取得可能な資格等 ●高等学校教諭一種免許状（商業）  
●高等学校教諭一種免許状（情報）

# 経営情報学科 (スポーツビジネスコース)

区分	1年				2年					
	前期	単位 時間	後期	単位 時間	前期	単位 時間	後期	単位 時間		
全学共通科目	社会人基礎力入門	2 2	自己と社会・地域論	2 2						
	教養国語	2 2								
	初年次ゼミ I	2 2	初年次ゼミ II	2 2						
	大学入門	2 2	キャリア形成入門	2 2						
	英語 I	2 2	英語 II	2 2						
	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2		
	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2		
専門科目	経営		経営学総論 I	2 2	経営学総論 II	2 2	経営管理論	2 2	経営組織論 事業創造論	2 2 2 2
	会計		簿記論 I	2 2	簿記論 II	2 2	財務諸表論 I	2 2		
	流通・マーケティング		流通学総論	2 2	流通論	2 2	マーケティング論 I 販売管理論	2 2 2 2	マーケティング論 II	2 2
	公共・地域経営				マクロ経済学	2 2	ミクロ経済学	2 2		
	スポーツビジネス						スポーツビジネス	2 2	スポーツマネジメント論 スポーツと社会	2 2 2 2
	情報リテラシー		パソコン基礎演習	2 2					経営情報システム論 情報科学概論 II	2 2 2 2
	職業指導				AIと経営情報学	2 2	情報科学概論 I	2 2		
	演習・卒業研究		フレッシュアーズゼミ I	2 2	フレッシュアーズゼミ II	2 2	演習 I	2 2	演習 II	2 2
	科目数	12		12		10		10		
	単位数	24		24		20		20		
時間数	24		24		20		20			
免許資格科目								教職基礎	2 2	
								特別活動	2 2	
								特別支援教育基礎論	2 2	

(備考) 赤字は必修科目を示す。

3年					4年					科目数	単位数	時間数	備考			
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期					単位	時間	
選択科目 (キャリア開発)	2	2											18	36	36	必修科目 (18 単位) を含め 30 単位以上 修得すること。
経営者論	2	2	経営戦略論 地域産業経営論 人事労務管理論	2 2 2	2 2 2				ビジネス実務総論	2	2		10	20	20	
													3	6	6	
			消費者行動論	2	2								6	12	12	
地域経営論	2	2	地域産業論	2	2	地域創生論	2	2					5	10	10	
スポーツビジネス演習 地域スポーツ論	2 2	2 2	スポーツマーケティング スポーツマネジメント演習	2 2	2 2	生涯スポーツ論	2	2					8	16	16	
													6	12	12	
						職業指導	2	2					1	2	2	
演習Ⅲ	2	2	演習Ⅳ	2	2	卒業研究Ⅰ	2	2	卒業研究Ⅱ	2	2		8	16	16	
6			8			4			3				65			
12			16			8			6				130			
12			16			8			6				130			
教育原論	2	2	教育心理学	2	2	教育経営論	2	2	教職実践演習 (中・高)	2	2					
教育課程論	2	2	教育の方法及び技術	2	2	教育実習Ⅱ	2	6								
商業科指導法Ⅰ	2	2	商業科指導法Ⅱ	2	2	教育実習Ⅲ	1	1					18	35	39	
情報科指導法Ⅰ	2	2	情報科指導法Ⅱ	2	2											
生徒指導論 (進路指導を含む。)	2	2	教育相談	2	2											
			総合的な学習の時間	2	2											

取得可能な資格等 ●高等学校教諭一種免許状 (商業)  
●高等学校教諭一種免許状 (情報)

## メディア情報学科 (eビジネスコース)

区分	1年				2年				
	前期	単位 時間	後期	単位 時間	前期	単位 時間	後期	単位 時間	
全学共通科目	社会人基礎力入門	2 2	自己と社会・地域論	2 2					
	教養国語	2 2							
	初年次ゼミ I	2 2	初年次ゼミ II	2 2					
	大学入門	2 2	キャリア形成入門	2 2					
	英語 I	2 2	英語 II	2 2					
	AI で変わる社会	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	
	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	
専門科目	経営・会計・流通・マーケティング				経営学総論 I 簿記論 I	2 2 2 2	経営学総論 II	2 2	
	情報リテラシー	情報科学概論 I	2 2	情報科学概論 II	2 2	情報処理入門	2 2	マルチメディア論	2 2
		パソコン基礎演習	2 2	ネットワーク基礎	2 2	コンピュータアーキテクチャ	2 2	情報数理	2 2
		ソフトウェア基礎論 I	2 2	ソフトウェア基礎論 II	2 2	画像処理概論	2 2	ウェブデザイン基礎演習	2 2
				映像メディア論	2 2	AI 概論	2 2	ディープラーニング基礎	2 2
	eビジネス技術				eビジネス概論	2 2	ICT 活用論	2 2	
	メディアデザイン技術								
	情報システム技術				アルゴリズムとデータ構造 コンピュータネットワーク論 I	2 2 2 2	経営情報システム論	2 2	
	ビジネススキル				プレゼンテーション概論	2 2	プレゼンテーション演習 ビジネス実務総論	2 2 2 2	
	職業指導								
	演習・卒業研究	フレッシュアーズゼミ I	2 2	フレッシュアーズゼミ II	2 2	演習 I	2 2	演習 II	2 2
	科目数	11		12		13		12	
	単位数	22		24		26		24	
時間数	22		24		26		24		
免許資格科目	高等学校教諭 一種免許状 (商業・情報)						教職基礎	2 2	
							特別活動	2 2	
							特別支援教育基礎論	2 2	

(備考) 赤字は必修科目を示す。

3年					4年					科目数	単位数	時間数	備考			
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期					単位	時間	
選択科目 (キャリア開発)	2	2											18	36	36	必修科目 (18 単位) を含め 30 単位以上 修得すること。
経営者論	2	2	消費者行動論	2	2	データサイエンス応用	2	2								
			会社法	2	2								10	20	20	
			データサイエンス基礎	2	2											
経営統計学	2	2	事業創造論	2	2											
ウェブデザイン実務演習	2	2	ウェブサイト作成管理演習	2	2	セキュリティ管理	2	2								
ディープラーニング応用	2	2				コンピュータシミュレーション	2	2					21	42	42	
流通システム	2	2														
インターネットビジネス	2	2	データ解析	2	2								7	16	16	
ネット広告	2	2	eビジネスプロジェクト演習	4	4											
													0	0	0	
プログラミング基礎	2	2											5	10	10	
データベース論	2	2														
ビジネス基礎演習	2	2	ビジネス実践	2	2								6	12	12	
			ビジネス実務演習	2	2											
						職業指導	2	2					1	2	2	
演習Ⅲ	2	2	演習Ⅳ	2	2	卒業研究Ⅰ	2	2	卒業研究Ⅱ	2	2	8	16	16		
12			10			5			1			76				
24			22			10			2			154				
24			22			10			2			154				
教育原論	2	2	教育心理学	2	2	職業指導	2	2	教職実践演習 (中・高)	2	2					
教育課程論	2	2	教育の方法及び技術	2	2	教育経営論	2	2								
商業科指導法Ⅰ	2	2	商業科指導法Ⅱ	2	2	教育実習Ⅱ	2	6					19	37	41	
情報科指導法Ⅰ	2	2	情報科指導法Ⅱ	2	2	教育実習Ⅲ	1	1								
生徒指導論 (進路指導を含む。)	2	2	教育相談	2	2											
			総合的な学習の時間	2	2											

取得可能な資格等 ●高等学校教諭一種免許状 (商業) ●高等学校教諭一種免許状 (情報)  
●プレゼンテーション実務士 ●上級ビジネス実務士  
●上級情報処理士 ●ウェブデザイン実務士

# メディア情報学科 (メディアデザインコース)

区分	1年				2年				
	前期	単位 時間	後期	単位 時間	前期	単位 時間	後期	単位 時間	
全学共通科目	社会人基礎力入門	2 2	自己と社会・地域論	2 2					
	教養国語	2 2							
	初年次ゼミ I	2 2	初年次ゼミ II	2 2					
	大学入門	2 2	キャリア形成入門	2 2					
	英語 I	2 2	英語 II	2 2					
	AI で変わる社会	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	
	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	
専門科目	経営・会計・流通・マーケティング				経営学総論 I 簿記論 I マーケティング論 I	2 2 2 2 2 2	経営学総論 II	2 2	
	情報リテラシー	情報科学概論 I	2 2	情報科学概論 II	2 2	情報処理入門	2 2	マルチメディア論	2 2
		パソコン基礎演習	2 2	ネットワーク基礎	2 2	コンピュータアーキテクチャ	2 2	ウェブデザイン基礎演習	2 2
		ソフトウェア基礎論 I	2 2	ソフトウェア基礎論 II	2 2	画像処理概論	2 2	ディープラーニング基礎	2 2
				映像メディア論	2 2	AI 概論	2 2		
				AI と経営情報学	2 2				
	e ビジネス技術						ICT 活用論	2 2	
	メディアデザイン技術					映像プロダクション演習	2 2	コマーシャルメッセージ演習	2 2
						ビジュアルデザイン	2 2	音響技術論	2 2
	情報システム技術						経営情報システム論	2 2	
	ビジネススキル					プレゼンテーション概論	2 2	プレゼンテーション演習	2 2
								ビジネス実務総論	2 2
	職業指導								
演習・卒業研究	フレッシュャーズゼミ I	2 2	フレッシュャーズゼミ II	2 2	演習 I	2 2	演習 II	2 2	
科目数	11		12		13		13		
単位数	26		24		26		26		
時間数	26		24		26		26		
免許資格科目	高等学校教諭 一種免許状 (商業・情報)						教職基礎	2 2	
							特別活動	2 2	
							特別支援教育基礎論	2 2	

(備考) 赤字は必修科目を示す。

3年						4年						科目数	単位数	時間数	備考	
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間					
選択科目(キャリア開発)	2	2											18	36	36	必修科目(18単位)を含め30単位以上修得すること。
経営者論	2	2	会社法	2	2								8	16	16	
経営統計学	2	2	事業創造論	2	2											
ウェブデザイン実務演習	2	2	ウェブサイト作成管理演習	2	2	セキュリティ管理	2	2								
ディープラーニング応用	2	2				コンピュータシミュレーション	2	2							20	40
													1	2	2	
番組制作演習	4	4	デスクトップミュージック	2	2											
CGアニメーション	2	2	3DCG	2	2								9	22	22	
			メディアデザインプロジェクト演習	4	4											
プログラミング基礎	2	2											2	4	4	
ビジネス基礎演習	2	2	ビジネス実践	2	2								6	12	12	
			ビジネス実務演習	2	2											
						職業指導	2	2					1	2	2	
演習Ⅲ	2	2	演習Ⅳ	2	2	卒業研究Ⅰ	2	2	卒業研究Ⅱ	2	2	8	16	16		
10			9			4			1			73				
22			20			8			2			150				
22			20			8			2			150				
教育原論	2	2	教育心理学	2	2	職業指導	2	2	教職実践演習(中・高)	2	2					
教育課程論	2	2	教育の方法及び技術	2	2	教育経営論	2	2								
商業科指導法Ⅰ	2	2	商業科指導法Ⅱ	2	2	教育実習Ⅱ	2	6								
情報科指導法Ⅰ	2	2	情報科指導法Ⅱ	2	2	教育実習Ⅲ	1	1					19	37	41	
生徒指導論(進路指導を含む。)	2	2	教育相談	2	2											
			総合的な学習の時間	2	2											

取得可能な資格等 ●高等学校教諭一種免許状(商業) ●高等学校教諭一種免許状(情報)  
●プレゼンテーション実務士 ●上級ビジネス実務士  
●上級情報処理士 ●ウェブデザイン実務士

# メディア情報学科（情報システムコース）

区分	1年				2年				
	前期	単位 時間	後期	単位 時間	前期	単位 時間	後期	単位 時間	
全学共通科目	社会人基礎力入門	2 2	自己と社会・地域論	2 2					
	教養国語	2 2							
	初年次ゼミ I	2 2	初年次ゼミ II	2 2					
	大学入門	2 2	キャリア形成入門	2 2					
	英語 I	2 2	英語 II	2 2					
	AI で変わる社会	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	
	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	
専門科目	経営・会計・流通・マーケティング				経営学総論 I	2 2	経営学総論 II	2 2	
					マーケティング論 I	2 2	マーケティング論 II	2 2	
	情報リテラシー	情報科学概論 I	2 2	情報科学概論 II	2 2	情報処理入門	2 2	マルチメディア論	2 2
		パソコン基礎演習	2 2	ネットワーク基礎	2 2	コンピュータアーキテクチャ	2 2	情報数理	2 2
		ソフトウェア基礎論 I	2 2	ソフトウェア基礎論 II	2 2	画像処理概論	2 2	ウェブデザイン基礎演習	2 2
				映像メディア論	2 2	AI 概論	2 2	ディープラーニング基礎	2 2
				AI と経営情報学	2 2				
	e ビジネス技術								
	メディアデザイン技術								
	情報システム技術					アルゴリズムとデータ構造	2 2	経営情報システム論	2 2
						コンピュータネットワーク論 I	2 2	コンピュータネットワーク論 II	2 2
	ビジネススキル					プレゼンテーション概論	2 2	プレゼンテーション演習	2 2
								ビジネス実務総論	2 2
職業指導									
演習・卒業研究	フレッシュャーズゼミ I	2 2	フレッシュャーズゼミ II	2 2	演習 I	2 2	演習 II	2 2	
科目数	11		12		12		13		
単位数	22		24		24		26		
時間数	22		24		24		26		
免許資格科目	高等学校教諭 一種免許状 (商業・情報)						教職基礎	2 2	
							特別活動	2 2	
							特別支援教育基礎論	2 2	

(備考) 赤字は必修科目を示す。

3年					4年					科目数	単位数	時間数	備考			
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期					単位	時間	
選択科目(キャリア開発)	2	2											18	36	36	必修科目(18単位)を含め30単位以上修得すること。
経営者論	2	2	消費者行動論	2	2								7	14	14	
経営統計学	2	2														
ウェブデザイン実務演習 ディープラーニング応用	2	2	ウェブサイト作成管理演習	2	2	セキュリティ管理	2	2	コンピュータシミュレーション	2	2		21	42	42	
インターネットビジネス ネット広告	2	2	データ解析	2	2								3	6	6	
													0	0	0	
プログラミング基礎	2	2	プログラミング応用	2	2								9	20	20	
ネットワーク管理	2	2	情報システムプロジェクト演習	4	4											
データベース論	2	2														
ビジネス基礎演習	2	2	ビジネス実践 ビジネス実務演習	2	2								6	12	12	
						職業指導	2	2					1	2	2	
演習Ⅲ	2	2	演習Ⅳ	2	2	卒業研究Ⅰ	2	2	卒業研究Ⅱ	2	2		8	16	16	
12			8			4			1				73			
24			18			8			2				148			
24			18			8			2				148			
教育原論	2	2	教育心理学	2	2	職業指導	2	2	教職実践演習(中・高)	2	2					
教育課程論	2	2	教育の方法及び技術	2	2	教育経営論	2	2								
商業科指導法Ⅰ	2	2	商業科指導法Ⅱ	2	2	教育実習Ⅱ	2	6								
情報科指導法Ⅰ	2	2	情報科指導法Ⅱ	2	2	教育実習Ⅲ	1	1					19	37	41	
生徒指導論(進路指導を含む。)	2	2	教育相談	2	2											
			総合的な学習の時間	2	2											

取得可能な資格等 ●高等学校教諭一種免許状(商業) ●高等学校教諭一種免許状(情報)  
●プレゼンテーション実務士 ●上級ビジネス実務士  
●上級情報処理士 ●ウェブデザイン実務士

人間生活科学科（公認心理師コース（公認心理師及び認定心理士資格を取得する場合））

区分	1年				2年				
	前期	単位 時間	後期	単位 時間	前期	単位 時間	後期	単位 時間	
全学共通科目	社会人基礎力入門	2 2	自己と社会・地域論	2 2	キャリア形成実践	2 2			
			教養国語	2 2					
	初年次ゼミⅠ	2 2	初年次ゼミⅡ	2 2					
	大学入門	2 2	キャリア形成入門	2 2					
	英語Ⅰ	2 2	英語Ⅱ	2 2			選択科目		2 2
			心理学入門	2 2	選択科目	2 2	選択科目		2 2
学科基礎科目	住生活論	2 2	生活科学概論	2 2	ライフデザイン論	2 2			
			食生活論	2 2					
生活科学	生活文化論	2 2	生活マナー論	2 2	コミュニケーション演習	2 2	エコライフ論		2 2
					人間関係論	2 2	プレゼンテーション		2 2
心理学	公認心理師の職責	2 2	学習・言語心理学	2 2	発達心理学	2 2	神経・生理心理学		2 2
	心理学概論	2 2	社会・集団・家族心理学	2 2	感情・人格心理学	2 2	司法・犯罪心理学		2 2
	臨床心理学概論	2 2	健康・医療心理学	2 2	心理学統計法	2 2	心理学研究法		2 2
	知覚・認知心理学	2 2			心理学実験	1 3	教育・学校心理学		2 2
					心理コンピュータ実習Ⅰ	1 3			
			青年心理学	2 2	カウンセリング論	2 2	心理コンピュータ実習Ⅱ		1 3
				色彩と心理	2 2	心理学実験演習		1 3	
専門・卒業研究									
科目数	10		13		12		10		
単位数	20		26		22		18		
時間数	20		26		26		22		

（備考）赤字は必修科目を示す。

3年						4年						科目数	単位数	時間数	備考	
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間					
選択科目	2	2	選択科目	2	2								16	32	32	必修科目(18単位)を含め30単位以上修得すること。
													4	8	8	必修科目(2単位)を含め6単位を修得すること。
ホスピタリティ論 コミュニケーションデザイン 生活ネットワーク論	2 2 2	2 2 2	フィールド研究	2	2								10	20	20	
産業・組織心理学 福祉心理学 心理的アセスメント 人体の構造と機能及び疾患	2 2 2 2	2 2 2 2	障害者・障害児心理学 心理演習 心理学的支援法 精神疾患とその治療	2 2 2 2	2 2 2 2	(心理実習) 関係行政論	3 2	3 2	心理実習	2	3		32	58	70	
専門研究Ⅰ	2	2	専門研究Ⅱ	2	2	卒業研究Ⅰ	2	2	卒業研究Ⅱ	2	2		3	8	8	
9			7			2			2				65			
18			14			4			4				126			
18			14			7			5				138			

取得可能な資格等 ●公認心理師 ●認定心理士

人間生活科学科 (心理・養護コース(養護教諭一種免許状及び認定心理士資格を取得する場合))

区分	1年				2年				
	前期	単位 時間	後期	単位 時間	前期	単位 時間	後期	単位 時間	
全学共通科目	社会人基礎力入門	2 2	自己と社会・地域論	2 2					
			教養国語	2 2					
	初年次ゼミ I	2 2	初年次ゼミ II	2 2					
	大学入門	2 2	キャリア形成入門	2 2					
	英語 I	2 2	英語 II	2 2					
	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	
	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	
専門科目	学科基礎科目		生活科学概論	2 2	ライフデザイン論	2 2			
		住生活論	2 2	食生活論	2 2		衣生活論	2 2	
		生活の色彩学	2 2						
	生活科学	生活文化論	2 2	生活マナー論	2 2	生活文化論演習 I (藍の文化)	2 2	生活文化論演習 II (徳島の文化)	2 2
						コミュニケーション演習	2 2	エコライフ論	2 2
						人間関係論	2 2	消費者教育 I	2 2
						生活と経済	2 2	プレゼンテーション	2 2
								生活環境学	2 2
	心理学	心理学概論	2 2	学習・言語心理学	2 2			神経・生理心理学	2 2
		知覚・認知心理学	2 2	社会・集団・家族心理学	2 2	感情・人格心理学	2 2	司法・犯罪心理学	2 2
				健康・医療心理学	2 2	心理学実験	1 3	心理学研究法	2 2
				青年心理学	2 2	心理学統計法	2 2	教育・学校心理学	2 2
						心理コンピュータ実習 I	1 3	心理コンピュータ実習 II	1 3
	養護保健学		母子保健論	2 2	健康教育論	2 2	養護保健研究法	2 2	
	専門・卒業研究								
科目数	12		15		13		14		
単位数	24		30		24		27		
時間数	24		30		28		29		
免許資格科目	養護に関する科目	身体の構造と機能 I	2 4	身体の構造と機能 II	2 4	母性看護学概論	1 1	学校保健 I (総論)	1 1
		微生物学	2 2	公衆衛生学	1 2	小児看護学概論	1 1	養護概説 I (総論)	1 1
		看護学概論	1 1	薬理学	2 2	生活行動援助方法 I	2 4	生活行動援助方法 II	1 2
				栄養学	2 2			小児保健論	1 2
								基礎看護学実習 I (看護の対象・環境)	1 3
	教職に関する科目					教育経営論	2 2	教職基礎	2 2
						生徒指導論 (進路指導を含む。)	2 2	特別活動	2 2
								特別支援教育基礎論	2 2
								総合的な学習の時間	2 2

(備考) 赤字は必修科目を示す。

3年						4年						科目数	単位数	時間数	備考	
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間					
													17	34	34	必修科目(18単位)を含め30単位以上修得すること。
													7	14	14	必修科目(2単位)を含め6単位を修得すること。
ホスピタリティ論	2	2	フィールド研究	2	2	生活美学	2	2								
コミュニケーションデザイン	2	2											18	36	36	
生活ネットワーク論	2	2														
消費者教育Ⅱ	2	2														
消費者教育演習	2	2														
産業・組織心理学	2	2	障害者・障害児心理学	2	2	発達心理学	2	2								
福祉心理学	2	2														
臨床心理学概論	2	2											22	40	48	
			心理学実験演習	1	3											
養護実践学	2	2	保健教育論	2	2	養護活動演習Ⅲ	2	2					8	16	16	
養護活動演習Ⅰ	2	2	養護活動演習Ⅱ	2	2											
専門研究Ⅰ	2	2	専門研究Ⅱ	2	2	卒業研究Ⅰ	2	2	卒業研究Ⅱ	2	2	4	8	8		
11			6			4			1				76			
22			11			8			2				148			
22			13			8			2				156			
保健統計学	1	1	精神保健論	1	1	養護概説Ⅱ(方法論)	1	2								
小児看護学実習	2	6														
学校保健Ⅱ(方法論)	1	2														
健康相談活動論Ⅰ(総論)	1	1											25	32	50	
健康相談活動論Ⅱ(方法論)	1	2														
疫学	1	1														
成人看護学概論	1	1														
生活科学	1	1														
教育原論	2	2	教育の方法及び技術(情報通信技術の活用を含む。)	2	2	養護実習Ⅰ	2	6	教職実践演習(養護教諭)	2	2					
教育課程論	2	2	教育心理学	2	2	養護実習Ⅱ	2	6								
道德教育	2	2	教育相談	2	2	養護実習Ⅲ	1	1					16	31	39	

取得可能な資格等 ●認定心理士 ●養護教諭一種免許状

# 人間生活科学科（デザインコース）

区分	1年				2年								
	前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間	
全学共通科目	社会人基礎力入門	2	2	自己と社会・地域論	2	2							
	初年次ゼミⅠ	2	2	教養国語	2	2							
	大学入門	2	2	初年次ゼミⅡ	2	2							
	英語Ⅰ	2	2	キャリア形成入門	2	2							
	選択科目	2	2	英語Ⅱ	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	
専門科目	学科基礎科目			生活科学概論	2	2	ライフデザイン論	2	2				
		住生活論	2	2	食生活論	2	2			衣生活論	2	2	
		生活の色彩学	2	2									
	生活科学			生活マナー論	2	2	人間関係論	2	2				
		生活文化論	2	2			生活文化論演習Ⅰ (藍の文化)	2	2	生活文化論演習Ⅱ (徳島の文化)	2	2	
						コミュニケーション演習	2	2	プレゼンテーション	2	2		
						消費と経済	2	2	生活環境学	2	2		
	地域デザイン						デザインマネジメント論	2	2	エコライフ論	2	2	
アート	芸術論	2	2						デジタルアート演習	2	2		
	素描	2	2	NFT・AIアート	2	2	3Dデザイン基礎	2	2	3D・VRアート演習	2	2	
ビジュアルデザイン			デザイン論	2	2								
	Photoshop基礎	2	2	Illustrator基礎	2	2	グラフィックデザイン基礎	2	2	ベーシックデザイン	2	2	
生活環境デザイン			写真概論	2	2	WEBデザイン基礎	2	2	WEBデザイン	2	2		
社会教育・生涯学習									空間デザイン基礎	2	2		
専門・卒業科目													
科目数	11			13			11			13			
単位数	22			26			20			26			
時間数	22			24			20			26			

3年						4年						科目数	単位数	時間数	備考	
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間					
選択科目	2	2	選択科目	2	2								14	28	28	必修単位(18単位)を含め30単位以上取得する。
													6	12	12	必修科目を含め6単位を取得する。
消費者教育Ⅱ 消費者教育演習	2 2	2 集中	ホスピタリティ論	2	2	生活美学	2	2					14	28	28	
コミュニケーションデザイン 生活ネットワーク論	2 2	2 2	フィールド研究	2	2								5	10	10	
			キャラクター造形 MUD・アート支援法	2 2	2 2	動画・アニメーション編集	2	2					8	16	16	
グラフィックデザイン演習 広告概論	2 2	2 2	イラストレーション	2	2								11	22	22	
インテリアデザイン ファッション造形基礎	2 2	2 2	ファッションデザイン演習	2	2	パッケージデザイン	2	2	企画デザイン	2	2		6	12	12	
社会教育経営論Ⅰ 社会教育演習 社会教育課題研究	2 2 2	2 2 2	社会教育経営論Ⅱ 社会教育実習	2 1	2 集中											
専門研究Ⅰ	2	2	専門研究Ⅱ	2	2	卒業研究Ⅰ	2	2	卒業研究Ⅱ	2	2		4	8	8	
13			10			4			2			8				
26			19			8			4			151				
24			18			8			4			146				

# 人間生活科学科（デザインコース(社会教育士・博物館学芸員資格を取得する場合)）

区分	1 年					2 年							
	前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間	
全学共通科目	社会人基礎力入門	2	2	自己と社会・地域論	2	2							
	初年次ゼミⅠ	2	2	教養国語	2	2							
	大学入門	2	2	初年次ゼミⅡ	2	2							
	英語Ⅰ	2	2	キャリア形成入門	2	2							
	英語Ⅱ	2	2	英語Ⅱ	2	2							
	選択科目（現代社会と人権）	2	2				選択科目	2	2	選択科目	2	2	
専門科目	学科基礎科目			生活科学概論	2	2	ライフデザイン論	2	2				
		住生活論	2	2						衣生活論	2	2	
		生活の色彩学	2	2									
	生活科学	生活文化論			生活マナー論	2	2	人間関係論	2	2			
							生活文化論演習Ⅰ (藍の文化)	2	2	生活文化論演習Ⅱ (徳島の文化)	2	2	
							コミュニケーション演習	2	2	プレゼンテーション	2	2	
							消費と経済	2	2	生活環境学 消費者教育Ⅰ	2	2	
	地域デザイン						デザインマネジメント論	2	2	エコライフ論	2	2	
	アート	芸術論	2	2						デジタルアート演習	2	2	
		素描	2	2	NFT・AIアート	2	2	3Dデザイン基礎	2	2	3D・VRアート演習	2	2
ビジュアルデザイン	Photoshop基礎			デザイン論	2	2							
				Illustrator基礎	2	2	グラフィックデザイン基礎	2	2	ベーシックデザイン	2	2	
				写真概論	2	2				WEBデザイン	2	2	
生活環境デザイン									空間デザイン基礎	2	2		
社会教育・生涯学習				社会教育概論	2	2	生涯学習支援論Ⅰ	2	2	生涯学習支援論Ⅱ	2	2	
専門・卒業科目													
科目数	11		12		11		13						
単位数	22		24		22		26						
時間数	22		24		22		26						
免許資格科目	博物館学芸員	生涯学習概論	2	2			博物館概論	2	2	博物館資料論	2	2	
							博物館資料保存論	2	2	博物館展示論	2	2	
										博物館教育論	2	2	

生活科学部

人間生活科学科

3年						4年						科目数	単位数	時間数	備考	
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間					
選択科目	2	2	選択科目	2	2								15	30	30	必修単位(18単位)を含め30単位以上取得する。
													5	10	10	必修科目を含め6単位を取得する。
消費者教育Ⅱ	2	2	ホスピタリティ論	2	2	生活美学	2	2					14	28	28	
消費者教育演習	2	集中														
コミュニケーションデザイン	2	2	フィールド研究	2	2								5	10	10	
生活ネットワーク論	2	2														
			キャラクター造形	2	2	動画・アニメーション編集	2	2					9	18	18	
			MUD・アート支援法	2	2											
グラフィックデザイン演習	2	2	イラストレーション	2	2								11	22	22	
広告概論	2	2														
インテリアデザイン	2	2				パッケージデザイン	2	2					6	12	12	
ファッション造形基礎	2	2	ファッションデザイン演習	2	2				企画デザイン	2	2					
社会教育経営論Ⅰ	2	2	社会教育経営論Ⅱ	2	2											
社会教育演習	2	2	社会教育実習	1	集中											
社会教育課題研究	2	2														
専門研究Ⅰ	2	2	専門研究Ⅱ	2	2	卒業研究Ⅰ	2	2	卒業研究Ⅱ	2	2		4	8	8	
13			11			4			2				8			
26			21			8			4				153			
24			20			8			4				150			
博物館情報・メディア論	2	2	博物館経営論	2	2	博物館実習Ⅰ	1	1					11	21	19	ここに示す科目を全て取得すること。この単位は卒業単位に含まれない。
						博物館実習Ⅱ	3	1								
						博物館実習Ⅲ	1	1								

# 健康栄養学科

区分	1 年				2 年												
	前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間					
全学共通科目	社会人基礎力入門	2	2	自己と社会・地域論 教養国語	2	2											
	初年次ゼミⅠ	2	2	初年次ゼミⅡ	2	2											
	大学入門	2	2	キャリア形成入門	2	2											
	英語Ⅰ	2	2	英語Ⅱ	2	2											
	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2					
	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2					
専門基礎科目	学科基礎科目	1	3	生活科学概論	2	2	有機化学 栄養情報処理演習Ⅰ (栄養ソフトウェアの活用)	2	2	2	2	栄養情報処理演習Ⅱ (統計処理を含む)	2	2			
	社会・環境と健康											※環境衛生学実験	1	3			
	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち						分子生体システム学 ※微生物学 微生物学実験	2	2	2	2	※分子病態システム学 解剖生理学 生化学Ⅰ(総論)	2	2			
	食べ物と健康	2	2	食品学総論 調理学 調理学実習Ⅰ(基礎Ⅰ)	2	2	食品化学実験Ⅰ(主要成分) 食品学各論Ⅰ(主要食品) 食品学各論実験 調理学実習Ⅱ(基礎Ⅱ)	1	3	1	3	※食品化学実験Ⅱ(成分分析) 食品学各論Ⅱ(その他の食品群)	1	3	食品衛生学	2	2
	基礎栄養学			基礎栄養学	2	2	基礎栄養学実験	1	3								
	応用栄養学						※応用栄養学 ライフステージ栄養学Ⅰ (妊娠期から思春期の栄養管理)	2	2	2	2	※ライフステージ栄養学Ⅱ (成人期から高齢期および特殊環境下の栄養管理) 応用栄養学実習	2	2	1	3	
	栄養教育論						栄養教育論Ⅰ(総論)	2	2	2	2	栄養教育論Ⅱ(各論)	2	2			
	臨床栄養学												臨床栄養学Ⅰ(総論)	2	2		
	公衆栄養学																
	給食経営管理論												給食経営管理論Ⅰ(基礎)	2	2		
	学校栄養教育												学校栄養教育Ⅰ(基礎)	2	2		
	専門発展科目	栄養マネジメント			健康と栄養	1	1	ライフスタイルと健康	1	1	1	1	地域健康づくり論	1	1		
スポーツ栄養				スポーツと健康	1	1	スポーツ栄養学Ⅰ(基礎)	1	1	1	1	スポーツ栄養学Ⅱ(応用)	1	1			
フードデザイン				食文化と食ビジネス	1	1	食品の機能と開発	1	1	1	1	食品管理とマーケティング	1	1			
臨地実習																	
総合演習・卒業研究																	
科目数		10		16			16					17					
単位数		18		26			26					29					
時間数		22		32			32					33					
免許資格科目		栄養教諭 一種免許状			教職基礎	2	2	教育原論	2	2	2	2	教育心理学	2	2		
								教育経営論	2	2	2	2	特別活動	2	2		
							生徒指導論(進路指導を含む)	2	2	2	2	教育の方法及び技術	2	2			
												教育相談	2	2			
											特別支援教育基礎論	2	2				

(備考) (1) 赤字は必修科目を示す。  
 (2) 管理栄養士国家試験を受けようとする者は、※印の選択科目を取得すること。



# 児童学科（児童教育学コース（小学校教諭一種免許状取得））

区分	1年				2年								
	前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間	
全学共通科目	社会人基礎力入門	2	2	自己と社会・地域論	2	2							
				教養国語	2	2							
	初年次ゼミⅠ	2	2	初年次ゼミⅡ	2	2							
	大学入門	2	2	キャリア形成入門	2	2							
	英語Ⅰ	2	2	英語Ⅱ	2	2							
	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	
	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	
専門科目	学科基礎・教科専門科目	生活科学概論	2	2	国語科概論（書写を含む。）	2	2	生活科概論	2	2	社会科概論	2	2
					算数科概論	2	2	（音楽（弾き歌い））	1	1	音楽（弾き歌い）	2	1
					図工教育	2	1	図画工作	2	2	理科概論	2	2
					音楽（声楽）	2	1	体育	2	2	家庭科概論	2	2
					音楽（器楽）	2	1	体育教育	2	2	身体コミュニケーション	2	2
	基礎理論	教育原論	2	2	教職基礎	2	2	教育心理学	2	2	特別支援教育論	2	2
					教育原論	2	2				教育方法論（ICT活用を含む。）	2	2
	内容・指導法							教材開発演習	2	2	教科指導法Ⅰ（算数）	2	2
								道德教育	2	2			
											介護等体験事前事後指導（集中）	2	2
	教育・保育実習												
	実践演習												
	専門・卒業研究												
	科目数	8		14		9		12					
	単位数	16		28		18		24					
時間数	18		25		19		23						
免許資格科目	中学校教諭二種免許状（英語）					Listening I	2	2	特別活動	2	2		
						Speaking I	2	2	英語学入門	2	2		
					Reading I	2	2	英米文学入門	2	2			
					国際文化入門	2	2	Writing I	2	2			
学校図書館司書教諭													

（備考）赤字は必修科目を示す。

3年						4年						科目数	単位数	時間数	備考		
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間						
						外国語教育概論（英語）	2	2									
						音楽教育	2	2									
発達心理学	2	2	児童教育学	2	2	教育経営論	2	2									
生徒指導論（進路指導を含む。）Ⅰ	1	1	教育相談Ⅰ	1	1	人権教育論	2	2									
生徒指導論（進路指導を含む。）Ⅱ	1	1	教育相談Ⅱ	1	1												
教科指導法Ⅰ（国語）	2	2	教育課程論Ⅰ	1	1	教科指導法Ⅱ（国語）	2	2	教科指導法Ⅱ（理科）	2	2						
教科指導法Ⅰ（社会）	2	2	教育課程論Ⅱ	1	1	教科指導法Ⅱ（社会）	2	2	教科指導法Ⅱ（音楽）	2	2						
教科指導法（生活）	2	2	教科指導法Ⅰ（理科）	2	2	教科指導法Ⅱ（算数）	2	2	教科指導法Ⅱ（図画工作）	2	2						
教科指導法Ⅰ（音楽）	2	2	教科指導法Ⅰ（体育）	2	2	教科指導法Ⅱ（体育）	2	2	教育情報処理演習	2	2						
			教科指導法Ⅰ（図画工作）	2	2	教科指導法（英語）	2	2									
プログラミング教育	2	2	総合的な学習の時間	2	2												
			特別活動	2	2												
教育実習指導（小）	1	1	教育実習Ⅰ（集中）	2	6	教育実習Ⅱ（集中）	2	6									
									教職実践演習（小）	2	2						
卒業研究演習Ⅰ	2	2	卒業研究演習Ⅱ	2	2	卒業研究Ⅰ	2	2	卒業研究Ⅱ	2	2						
						現代の教育・保育課題	2	2									
10			13			12			6								
17			22			24			12								
17			26			28			12								
道徳教育	2	2	総合的な学習の時間	2	2	教育実習Ⅰ（集中）	2	6									
			教育の方法及び技術	2	2												
			生徒指導論（進路指導を含む。）	2	2												
英語教育Ⅰ（英語科指導法）	2	2	教育相談	2	2												
			英語音声学	2	2												
			英語教育Ⅱ（英語科指導法）	2	2												
						学校経営と学校図書館	2	2	学校図書館メディアの構成	2	2						
						学習指導と学校図書館	2	2	読書と豊かな人間性	2	2						
									情報メディアの活用	2	2						

取得可能な資格等 ●小学校教諭一種免許状 ●中学校教諭二種免許状（英語） ●学校図書館司書教諭資格  
●児童指導員任用資格 ●小学校英語指導者（四国大学認定資格）

# 児童学科（児童教育学コース（小学校・幼稚園教諭一種免許状取得））

区分	1年				2年					
	前期	単位 時間	後期	単位 時間	前期	単位 時間	後期	単位 時間		
全学共通科目	社会人基礎力入門	2	2	自己と社会・地域論	2	2				
				教養国語	2	2				
	初年次ゼミⅠ	2	2	初年次ゼミⅡ	2	2				
	大学入門	2	2	キャリア形成入門	2	2				
	英語Ⅰ	2	2	英語Ⅱ	2	2				
	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2		
	選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2		
専門科目	学科基礎・ 教科専門科目	生活科学概論	2	2	国語科概論（書写を含む。）	2	2	生活科概論	2	2
					算数科概論	2	2	（音楽（弾き歌い））	1	1
					図工教育	2	2	図画工作	2	2
		（音楽（声楽））	1	1	音楽（声楽）	2	1	体育	2	2
		（音楽（器楽））	1	1	音楽（器楽）	2	1	体育教育	2	2
								身体コミュニケーション	2	2
	基礎理論	教育原論	2	2	教職基礎	2	2	教育心理学	2	2
		子どもと言葉	2	2	保育者論	2	2	子どもと健康	1	1
		子どもと環境	2	2				特別支援教育論 教育方法論（ICT活用を含む。） 発達と教育の心理学 教育の方法及び技術 子どもと人間関係 子どもと表現	2	2
	内容・指導法	ダンスⅠ（集中）	2	2	子どもと絵本Ⅰ	2	2	教材開発演習	2	2
					ダンスⅡ（集中）	2	2	道徳教育	2	2
								特別支援教育・保育論	2	2
								保育カリキュラム論	2	2
	教育・保育実習						子どもと絵本Ⅱ	2	2	
	実践演習						レクリエーション概論	2	2	
	専門・卒業研究									
	科目数	11		16		11		18		
	単位数	22		32		21		34		
	時間数	24		30		22		33		
	免許資格科目	学校図書館 司書教諭								

（備考）赤字は、必修科目を示す。

生活科学部  
児童学科



# 児童学科（保育学コース（幼稚園教諭一種免許状・保育士資格取得））

区分	1年				2年			
	前期	単位 時間	後期	単位 時間	前期	単位 時間	後期	単位 時間
全学共通科目	社会人基礎力入門	2 2	自己と社会・地域論	2 2				
			教養国語	2 2				
	初年次ゼミⅠ	2 2	初年次ゼミⅡ	2 2				
	大学入門	2 2	キャリア形成入門	2 2				
	英語Ⅰ	2 2	英語Ⅱ	2 2				
	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2
	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2
学科基礎・ 教科専門科目	生活科学概論	2 2			(音楽(弾き歌い))	1	音楽(弾き歌い)	2 1
	(音楽(声楽))	1	音楽(声楽)	2 1	図画工作	2 2	身体コミュニケーション	2 2
	(音楽(器楽))	1	音楽(器楽)	2 1	体育	2 2		
基礎理論	※教育原論	2 2					※発達と教育の心理学	2 2
	※保育原理	2 2	※子ども家庭福祉	2 2	※社会的養護Ⅰ	2 2	教育の方法及び技術	2 2
	※子どもの保健	2 2	※保育者論	2 2	※子どもの食と栄養	2 2	※子どもと人間関係	1 1
	※社会福祉	2 2			※子どもと健康	1 1	※子どもと表現	1 1
	※子どもと環境	1 1						
	※子どもと言葉	1 1						
内容・指導法	ダンスⅠ(集中)	2 2	子どもと絵本Ⅰ	2 2			※乳児保育Ⅱ	1 1
			ダンスⅡ(集中)	2 2	※乳児保育Ⅰ	2 2	※子どもの健康と安全	1 1
					※特別支援教育・保育論	2 2	※保育カリキュラム論	2 2
							子どもと絵本Ⅱ	2 2
						レクリエーション概論	1 1	
教育・保育実習					※保育実習Ⅰ(施設) (集中)	2 6	※保育実習Ⅰ(保育所) (集中)	2 6
					※保育実習指導Ⅰ(施設)	2 2	※保育実習指導Ⅰ (保育所)	2 2
実践演習								
専門・卒業研究								
科目数	14		13		11		15	
単位数	26		26		21		25	
時間数	28		24		26		28	

(備考) (1) 赤字は、必修科目を示す。

(2) 保育士の資格を取得する者は、※印の科目を取得し、児童福祉法施行規則で定める選択科目を9単位以上(うち保育実習2単位及び・保育実習指導2単位)を取得すること。

3年					4年					科目数	単位数	時間数	備考			
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期					単位	時間	
													17	34	34	必修科目(18単位)を含め30単位以上修得すること。
						音楽教育	2	2					8	16	16	
発達心理学	2	2	児童教育学 ※幼児理解の理論及び方法 教育相談Ⅰ 教育相談Ⅱ ※子ども家庭支援の心理学	2	2	教育経営論 人権教育論	2	2					24	40	40	
※保育内容(環境) ※保育内容(言葉) ※保育内容(人間関係) ※保育内容(表現)Ⅰ ※社会的養護Ⅱ スポーツ・レクリエーション概論	2	2				※保育内容総合 ※保育内容(表現)Ⅱ ※保育内容(健康)	2	2	障がい児保育	2	2		21	36	36	
教育実習指導(幼)	2	2	教育実習Ⅰ(集中)	2	6	教育実習Ⅱ(集中)	2	6								
保育実習Ⅱ(集中)	2	6	※いずれか1科目										9	18	38	
保育実習Ⅲ(集中)																
保育実習指導Ⅱ	2	2	※いずれか1科目													
保育実習指導Ⅲ																
									※保育・教職実践演習(幼)	2	2		1	2	2	
卒業研究演習Ⅰ	2	2	卒業研究演習Ⅱ	2	2	卒業研究Ⅰ 現代の教育・保育課題	2	2	卒業研究Ⅱ	2	2		5	10	10	
11			7			10			4				85			
20			11			20			7				156			
24			15			24			7				176			

取得可能な資格等 ●幼稚園教諭一種免許状 ●保育士資格 ●認定絵本士  
●社会福祉主事任用資格 ●食育スペシャリスト(四国大学認定資格)

# 看護学科 (1) (看護師国家試験受験資格を取得する場合)

区分	1年				2年			
	前期	単位 時間	後期	単位 時間	前期	単位 時間	後期	単位 時間
全学共通科目	社会人基礎力入門	2 2	自己と社会・地域論	2 2				
	教養国語	2 2	心理学入門*	2 2				
	初年次ゼミ I	2 2	初年次ゼミ II	2 2				
	大学入門	2 2	キャリア形成入門	2 2				
	英語 I	2 2	英語 II	2 2				
	選択科目	2 2	情報処理*	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2
人間と健康	身体の構造と機能 I	2 4	身体の構造と機能 II	2 4	生活科学	1 1		
	生化学	2 2	栄養学	2 2				
	微生物学	2 2	薬理学	2 2				
	健康科学概論	1 2	ジェンダー論 人間関係論 臨床心理学	1 1 1 1 1 2				
環境と健康			疾病論 (総論)	1 2	疾病論 I (呼吸・循環・血液・造血管系)	1 2	保健医療福祉制度論	2 2
			公衆衛生学	1 1	疾病論 II (消化・腎・泌尿器系)	1 2		
					疾病論 III (内分泌・代謝・生殖器系)	1 2		
					疾病論 IV (脳・神経・運動器系)	1 2		
					疾病論 V (神経・感覚器系)	1 2		
看護の基本	看護学概論	1 1	ヘルスアセスメント	1 2	治療課程に伴う援助方法	2 4	看護過程論	1 2
	生活行動援助方法 I	2 4	生活行動援助方法 II	1 2	看護理論演習	1 2	基礎看護学実習 II (看護過程)	2 6
			基礎看護学実習 I (看護の対象・環境)	1 3				
小児看護学				小児看護学概論	1 1	小児保健論	1 2	
成人・老年看護学					成人看護学概論	1 1	成人保健論	1 1
					老年看護学概論	1 1	老年保健論	1 1
母性看護学					母性看護学概論	1 1	母性保健論 母性看護方法論	1 1 2 4
精神看護学					精神看護学概論	1 1	精神保健論	1 1
地域・在宅看護論			地域看護学概論	1 1			在宅看護概論	2 2
看護学総合	フィールド体験実習	1 3			国際看護論	1 1	家族看護論 看護教育論	1 1 1 1
							エンドオブライフケア 看護史・制度論	1 1 1 1
科目数	13		19		16		16	
単位数	23		29		19		22	
時間数	30		37		27		30	

(備考) (1) 全学共通科目欄の赤字は、必修科目を示す。\*の科目は看護学科必修科目を示す。

(2) 専門科目欄の青字は選択科目を示し、他の科目は必修とする

(3) 保健師の国家試験受験資格についてはカリキュラムマップ (2)、助産師の国家試験受験資格についてはカリキュラムマップ (3)、教育職員免許状取得についてはカリキュラムマップ (4) をそれぞれ参照すること。

3年					4年					科目数	単位数	時間数	備考			
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期					単位	時間	
													17	34	34	必修科目(18単位)を含め30単位以上修得すること。
						女性と胎児の薬理学	1	1								
保健統計学 疫学	1 1	1 1														必修科目を含め27単位以上を修得すること。
													9	12	26	
小児看護方法論	2	4	小児看護学実習	2	6								4	6	13	
成人看護方法論Ⅰ (慢性期)	2	4	成人看護学実習Ⅰ (慢性期)	3	9											
成人看護方法論Ⅱ (急性期)	2	4	成人看護学実習Ⅱ (急性期)	3	9								10	18	41	
老年看護方法論	1	2	老年看護学実習	3	9											
			母性看護学実習	2	6								4	6	12	
精神看護方法論	2	4	精神看護学実習	2	6								4	6	12	
在宅看護援助論	2	2	在宅看護論実習	2	6	地域包括ケア論	1	1					5	8	12	
看護倫理	1	1				看護研究Ⅰ(計画書作成)	1	2	看護研究Ⅱ(論文作成)	1	2					
看護管理論	1	1				応用看護技術Ⅰ (看護技術の統合)	1	2	総合実習	2	6					
災害看護論	1	1							応用看護技術Ⅱ (臨床判断能力の統合)	1	2		16	17	29	
課題探求ゼミナール	1	2														
看護研究方法論	1	2														
13			7			4			3				91			
18			17			4			4				136			
29			51			6			10				220			

取得可能な資格等 ●看護師国家試験受験資格

## 看護学科（２）（看護師及び保健師の国家試験受験資格を取得する場合）

区分	1年				2年			
	前期	単位 時間	後期	単位 時間	前期	単位 時間	後期	単位 時間
全学共通科目	社会人基礎力入門	2 2	自己と社会・地域論	2 2				
	教養国語	2 2	心理学入門*	2 2				
	初年次ゼミⅠ	2 2	初年次ゼミⅡ	2 2				
	大学入門	2 2	キャリア形成入門	2 2				
	英語Ⅰ	2 2	英語Ⅱ	2 2				
	選択科目	2 2	情報処理*	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2
			選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2
人間と健康	身体の構造と機能Ⅰ	2 4	身体の構造と機能Ⅱ	2 4	生活科学	1 1		
	生化学	2 2	栄養学	2 2				
	微生物学	2 2	薬理学	2 2				
	健康科学概論	1 2	ジェンダー論	1 1				
			人間関係論	1 1				
			臨床心理学	1 2				
環境と健康			疾病論（総論）	1 2	疾病論Ⅰ (呼吸・循環・血液・造血管系)	1 2	保健医療福祉制度論	2 2
			公衆衛生学	1 1	疾病論Ⅱ (消化・腎・泌尿器系)	1 2		
					疾病論Ⅲ (内分泌・代謝・生殖系)	1 2		
					疾病論Ⅳ (脳・神経・運動器系)	1 2		
					疾病論Ⅴ (神経・感覚器系)	1 2		
看護の基本	看護学概論	1 1	ヘルスアセスメント	1 2	治療課程に伴う援助方法	2 4	看護過程論	1 2
	生活行動援助方法Ⅰ	2 4	生活行動援助方法Ⅱ	1 2	看護理論演習	1 2	基礎看護学実習Ⅱ (看護過程)	2 6
			基礎看護学実習Ⅰ (看護の対象・環境)	1 3				
小児看護学					小児看護学概論	1 1	小児保健論	1 2
成人・老年看護学					成人看護学概論	1 1	成人保健論	1 1
					老年看護学概論	1 1	老年保健論	1 1
母性看護学					母性看護学概論	1 1	母性保健論 母性看護方法論	1 1 2 4
精神看護学					精神看護学概論	1 1	精神保健論	1 1
地域・在宅看護論			地域看護学概論	1 1			在宅看護概論	2 2
看護学総合	フィールド体験実習	1 3			国際看護論	1 1	家族看護論 看護教育論	1 1 1 1
							エンドオブライフケア 看護史・制度論	1 1 1 1
公衆衛生看護学							公衆衛生看護学概論	1 1
							学校保健Ⅰ（総論）	1 1
							健康教育論	1 1
科目数	13		19		16		19	
単位数	23		29		19		25	
時間数	30		37		27		33	

(備考) (1) 全学共通科目欄の赤字は、必修科目を示す。\*の科目は看護学科必修科目に指定されている。  
また、保健師免許取得後、看護教諭二種免許状を申請しようとする者は、日本国憲法、健康スポーツ及び英語コミュニケーションが、教育職員免許状取得のための必修科目であるので履修すること。

(2) 専門科目欄の青字は選択科目を示し、他の科目は必修とする。

3年						4年						科目数	単位数	時間数	備考	
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間					
													17	34	34	必修科目(18単位)を含め30単位以上修得すること。
						女性と胎児の薬理学	1	1					12	18	24	
保健統計学 疫学	1 1	1 1											10	11	17	必修科目を含め27単位以上を修得すること。
													9	12	26	
小児看護方法論	2	4	小児看護学実習	2	6								4	6	13	
成人看護方法論Ⅰ (慢性期)	2	4	成人看護学実習Ⅰ (慢性期)	3	9											
成人看護方法論Ⅱ (急性期)	2	4	成人看護学実習Ⅱ (急性期)	3	9								10	18	41	
老年看護方法論	1	2	老年看護学実習	3	9											
			母性看護学実習	2	6								4	6	12	
精神看護方法論	2	4	精神看護学実習	2	6								4	6	12	
在宅看護援助論	2	2	在宅看護論実習	2	6	地域包括ケア論	1	1					5	8	12	
看護倫理	1	1				看護研究Ⅰ(計画書作成)	1	2	看護研究Ⅱ(論文作成)	1	2					
看護管理論	1	1				応用看護技術Ⅰ (看護技術の統合)	1	2	総合実習	2	6					
災害看護論	1	1							応用看護技術Ⅱ (臨床判断能力の統合)	1	2		16	17	29	
課題探求ゼミナール	1	1														
看護研究方法論	1	2														
公衆衛生看護方法論Ⅰ (活動計画)	2	2				公衆衛生看護方法論Ⅱ (対象別活動論)	2	2								
						公衆衛生看護方法論Ⅲ (場の特性格活動論)	2	2								
						公衆衛生看護方法論Ⅳ (活動の展開)	3	3					10	18	26	
						公衆衛生看護管理論	1	1								
						公衆衛生看護学実習	4	12								
						健康政策過程論	1	1								
14			7			10			3				101			
20			17			17			4				154			
30			51			27			10				246			

取得可能な資格等 ●看護師国家試験受験資格  
●保健師国家試験受験資格  
●養護教諭二種免許状(保健師免許取得後申請が必要である。)

## 看護学科 (3) (看護師及び助産師の国家試験受験資格を取得する場合)

区分	1年				2年			
	前期	単位 時間	後期	単位 時間	前期	単位 時間	後期	単位 時間
全学共通科目	社会人基礎力入門	2 2	自己と社会・地域論	2 2				
	教養国語	2 2	心理学入門*	2 2				
	初年次ゼミⅠ	2 2	初年次ゼミⅡ	2 2				
	大学入門	2 2	キャリア形成入門	2 2				
	英語Ⅰ	2 2	英語Ⅱ	2 2				
			情報処理*	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2
	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2	選択科目	2 2
人間と健康	身体の構造と機能Ⅰ	2 4	身体の構造と機能Ⅱ	2 4	生活科学	1 1		
	生化学	2 2	栄養学	2 2				
	微生物学	2 2	薬理学	2 2				
	健康科学概論	1 2	ジェンダー論	1 1				
環境と健康			疾病論(総論)	1 2	疾病論Ⅰ (呼吸・循環・血液・造血管系)	1 2	保健医療福祉制度論	2 2
			公衆衛生学	1 1	疾病論Ⅱ (消化・腎・泌尿器系)	1 2		
					疾病論Ⅲ (内分泌・代謝・生殖系)	1 2		
					疾病論Ⅳ (脳・神経・運動器系)	1 2		
					疾病論Ⅴ (神経・感覚器系)	1 2		
看護の基本	看護学概論	1 1	ヘルスアセスメント	1 2	治療課程に伴う援助方法	2 4	看護過程論	1 2
	生活行動援助方法Ⅰ	2 4	生活行動援助方法Ⅱ	1 2	看護理論演習	1 2	基礎看護学実習Ⅱ (看護過程)	2 6
			基礎看護学実習Ⅰ (看護の対象・環境)	1 3				
小児看護学					小児看護学概論	1 1	小児保健論	1 2
成人・老年看護学					成人看護学概論	1 1	成人保健論	1 1
					老年看護学概論	1 1	老年保健論	1 1
母性看護学					母性看護学概論	1 1	母性保健論 母性看護方法論	1 1 2 4
精神看護学					精神看護学概論	1 1	精神保健論	1 1
地域・在宅看護論			地域看護学概論	1 1			在宅看護概論	2 2
看護学総合	フィールド体験実習	1 3			国際看護論	1 1	家族看護論 看護教育論	1 1 1 1
							エンドオブライフケア 看護史・制度論	1 1 1 1
助産学								
科目数	13		19		16		16	
単位数	23		29		19		22	
時間数	30		37		27		30	

- (備考) (1) 全学共通科目欄の赤字は、必修科目を示す。\*の科目は看護学科必修科目に指定されている。  
(2) 専門科目欄の青字は選択科目を示し、ほかの教科は必修とする。  
(3) 教育職員免許状の資格取得については、カリキュラムマップ(4)を参照すること。

3年						4年						科目数	単位数	時間数	備考	
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間					
													17	34	34	必修科目(18単位)を含め30単位以上修得すること。
						女性と胎児の薬理学	1	1					12	18	24	
保健統計学 疫学	1 1	1 1											10	11	17	必修科目を含め27単位以上を修得すること。
													9	12	26	
小児看護方法論	2	4	小児看護学実習	2	6								4	6	13	
成人看護方法論Ⅰ (慢性期)	2	4	成人看護学実習Ⅰ (慢性期)	3	9											
成人看護方法論Ⅱ (急性期)	2	4	成人看護学実習Ⅱ (急性期)	3	9								10	18	41	
老年看護方法論	1	2	老年看護学実習	3	9											
			母性看護学実習	2	6								4	6	12	
精神看護方法論	2	4	精神看護学実習	2	6								4	6	12	
在宅看護援助論	2	2	在宅看護論実習	2	6	地域包括ケア論	1	1					5	8	12	
看護倫理	1	1				看護研究Ⅰ(計画書作成)	1	2	看護研究Ⅱ(論文作成)	1	2					
看護管理論	1	1				応用看護技術Ⅰ (看護技術の統合)	1	2	総合実習	2	6					
災害看護論	1	1							応用看護技術Ⅱ (臨床判断能力の統合)	1	2		16	17	29	
課題探求ゼミナール	1	2														
看護研究方法論	1	2														
			助産学概論	1	1	地域母子保健	1	1	プライマリケア実習	2	6					
			産期医学	1	1	助産診断・技術Ⅰ (妊娠期の診断とケア・女性のケア)	4	4								
						助産診断・技術Ⅱ(演習)	1	2					10	24	45	
						助産診断・技術Ⅲ (分娩期・産褥期の診断とケア)	3	3								
						助産診断・技術Ⅳ(演習)	2	4								
						助産管理	2	2								
						助産学実習	7	21								
13			9			11			4				101			
18			19			24			6				160			
30			53			43			16				266			

取得可能な資格等 ●看護師国家試験受験資格  
●助産師国家試験受験資格

## 看護学科（４）（看護師国家試験受験資格及び教育職員免許状を取得する場合）

区分	1年				2年							
	前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期	単位	時間
全学共通科目	社会人基礎力入門	2	2	自己と社会・地域論	2	2						
	教養国語	2	2	心理学入門*	2	2						
	初年次ゼミⅠ	2	2	初年次ゼミⅡ	2	2						
	大学入門	2	2	キャリア形成入門	2	2						
	英語Ⅰ	2	2	英語Ⅱ	2	2						
	選択科目	2	2	情報処理*	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2
			選択科目	2	2	選択科目	2	2	選択科目	2	2	
専門科目	人間の健康	2	4	身体の構造と機能Ⅱ	2	4	生活科学	1	1			
		2	2	栄養学	2	2						
		2	2	薬理学	2	2						
				ジェンダー論	1	1						
		1	2	人間関係論	1	1						
				臨床心理学	1	2						
	環境と健康			疾病論（総論）	1	2	疾病論Ⅰ (呼吸・循環・血液・造血管系)	1	2	保健医療福祉制度論	2	2
				公衆衛生学	1	1	疾病論Ⅱ (消化・腎・泌尿器系)	1	2			
							疾病論Ⅲ (内分泌・代謝・生殖系)	1	2			
							疾病論Ⅳ (脳・神経・運動器系)	1	2			
看護の基本	1	1	ヘルスアセスメント	1	2	治療課程に伴う援助方法	2	4	看護過程論	1	2	
	2	4	生活行動援助方法Ⅱ	1	2	看護理論演習	1	2	基礎看護学実習Ⅱ (看護過程)	2	6	
小児看護学			基礎看護学実習Ⅰ (看護の対象・環境)	1	3							
成人・老年看護学						小児看護学概論	1	1	小児保健論	1	2	
						成人看護学概論	1	1	成人保健論	1	1	
						老年看護学概論	1	1	老年保健論	1	1	
母性看護学						母性看護学概論	1	1	母性保健論	1	1	
									母性看護学方法論	2	4	
精神看護学						精神看護学概論	1	1	精神保健論	1	1	
地域・在宅看護論			公衆衛生看護学概論	1	1				在宅看護概論	2	2	
看護学総合	1	3				国際看護論	1	1	家族看護論	1	1	
									看護教育論	1	1	
									エンドオブライフケア 看護史・制度論	1	1	
										1	1	
科目数	13			19			16			16		
単位数	23			29			19			22		
時間数	30			37			27			30		
免許資格科目	養護教諭 一種免許状						教育原論	2	2	教職基礎	2	2
							教育経営論	2	2	教育心理学	2	2
							教育課程論	2	2	特別活動	2	2
							道徳教育	2	2	教育の方法及び技術	2	2
							生徒指導論（進路指導を含む。）	2	2	教育相談	2	2
									学校保健Ⅰ（総論）	1	1	
									養護概説Ⅰ（総論）	1	1	
									特別支援教育基礎論	2	2	
									総合的な学習の時間	2	2	
高等学校教諭 一種免許状 (看護)							教育原論	2	2	教職基礎	2	2
							教育経営論	2	2	教育心理学	2	2
							教育課程論	2	2	特別活動	2	2
							生徒指導論（進路指導を含む。）	2	2	教育の方法及び技術	2	2
									教育相談	2	2	
									看護科指導法Ⅰ	2	2	
									特別支援教育基礎論	2	2	
									総合的な学習の時間	2	2	

(備考) (1) 全学共通科目欄の赤字は、必修科目を示す。\*の科目は看護学科必修科目に指定されている。  
 また、日本国憲法、健康スポーツ及び英語コミュニケーションは、教育職員免許状取得のための必修科目であるので履修すること。  
 (2) 専門科目欄の青字は選択科目を示し、他の科目は必修とする。ただし「養護教諭一種免許状」取得希望者は「疫学」が必修である。  
 (3) 保健師国家試験受験資格についてはカリキュラムマップ(2)、助産師国家試験受験資格についてはカリキュラムマップ(3)をそれぞれ参照すること。

看護学部  
看護学科

3年					4年					科目数	単位数	時間数	備考		
前期	単位	時間	後期	単位	時間	前期	単位	時間	後期					単位	時間
												17	34	34	必修科目(20単位)を含め30単位以上修得すること。
						女性と胎児の薬理学	1	1				12	18	24	
保健統計学 疫学	1 1	1 1										10	11	17	必修科目を含め27単位以上を修得すること。
												9	12	26	
小児看護方法論	2	4	小児看護学実習	2	6							4	6	13	
成人看護方法論Ⅰ (慢性期)	2	4	成人看護学実習Ⅰ (慢性期)	3	9										
成人看護方法論Ⅱ (急性期)	2	4	成人看護学実習Ⅱ (急性期)	3	9										
老年看護方法論	1	2	老年看護学実習	3	9							10	18	41	
			母性看護学実習	2	6							4	6	12	
精神看護方法論	2	4	精神看護学実習	2	6							4	6	12	
在宅看護援助論	2	2	在宅看護論実習	2	6	地域包括ケア論	1	1				5	8	12	
看護倫理	1	1				看護研究Ⅰ(計画書作成)	1	2	看護研究Ⅱ(論文作成)	1	2				
看護管理論	1	1				応用看護技術Ⅰ (看護技術の統合)	1	2	総合実習	2	6				
災害看護論	1	1							応用看護技術Ⅱ (臨床判断能力の統合)	1	2	16	17	29	
課題探求ゼミナール 看護研究方法論	1 1	2 2													
13			7			4			3			91			
18			17			4			4			136			
29			51			6			10			220			
学校保健Ⅱ(方法論)	1	2				養護実習Ⅰ	2	6	教職実践演習(養護教諭)	2	2				
健康相談活動論Ⅰ(総論)	1	1				養護実習Ⅱ	2	6							
健康相談活動論Ⅱ(方法論)	1	2				養護実習Ⅲ	1	1							
						養護概説Ⅱ(方法論)	1	2				22	37	48	
看護科指導法Ⅱ	2	2				教育実習Ⅱ	2	6	教職実践演習(中・高)	2	2				
						教育実習Ⅲ	1	1				16	31	35	

取得可能な資格等 ●看護師国家試験受験資格  
●養護教諭一種免許状  
●高等学校教諭一種免許状(看護)

改正 令和4年4月27日

（趣旨）

第1条 この規則は、全学共通教育センター会議規則第10条の規定に基づき、数理・データサイエンス・AI教育プログラム専門委員会（以下、「委員会」という。）の運営に関し、必要な事項を定める。

（審議事項）

第2条 委員会は、次の各号に掲げる事項について審議する。

- （1）数理・データサイエンス・AI教育プログラム（以下、「本プログラム」という。）の編成と運営に関する事。
- （2）本プログラムの履修者数・履修率の向上に関する事。
- （3）本プログラムの自己点検・評価及び改善・進化に向けた取り組みに関する事。
- （4）その他本プログラムに関する事。

（組織）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- （1）副学長
- （2）全学共通教育センター副センター長から1人
- （3）本プログラムの授業科目を担当する教員 各1人
- （4）その他委員会が必要と認める者

2 前項第2号から第4号までの委員は、学長が命ずる。

（任期）

第4条 前条第1項第2号から第4号までの委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長）

第5条 委員会に委員長を置き、第3条第1項第2号の委員をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

（会議）

第6条 委員会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（代理出席）

第7条 委員がやむを得ない事情により会議に出席できないときは、代理の者を出席させることができる。

（委員以外の者の出席）

第8条 委員会が必要と認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求めて意見を聴くことができる。

（自己点検・評価部会）

第9条 委員会に本プログラムの自己点検・評価及び改善・進化に向けた取組を実施するため、自己点検・評価部会を置く。

2 自己点検・評価部会について必要な事項は、委員会が別に定める。

追加〔令和4年4月27日〕

（事務）

第10条 委員会の事務は、教育支援課において処理する。

一部改正〔令和4年4月27日〕

（雑則）

第11条 この規則に定めるもののほか、委員会について必要な事項は、委員会が別に定める。

一部改正〔令和4年4月27日〕

附 則

- 1 この規則は、令和3年5月27日から施行する。
- 2 第4条の規定にかかわらず、この規則の施行後、最初に選出される委員の任期は、令和5年3月31日までとする。

附 則（令和4年4月27日改正）

この改正規則は、令和4年4月27日から施行する。

ダウンロード

○数理・データサイエンス・AI教育プログラム専門委員会自己点検・評価部会設置要綱（令和4年4月28日制定）

数理・データサイエンス・AI教育プログラム専門委員会自己点検・評価部会設置要綱

令和4年4月28日制定

（設置）

第1条 数理・データサイエンス・AI教育プログラム専門委員会規則第9条第2項の規定に基づき、数理・データサイエンス・AI教育プログラムに関する自己点検・評価を実施し、本学における教育の有効性の検証を行うことを目的として、数理・データサイエンス・AI教育プログラム専門委員会自己点検・評価部会（以下「自己点検・評価部会」という。）を設置する。

（組織）

第2条 自己点検・評価部会は、次の委員をもって組織する。

- （1） 副学長
- （2） 全学共通教育センター副センター長から1人
- （3） 各学部から選出された専任教員 各1人
- （4） その他委員長が必要と認める者

2 前項第2号から第4号までの委員は、学長が命ずる。

（任期）

第3条 前条第1項第2号から第4号までの委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員に欠員を生じた場合の後任者の任期は、前任者の残任期間とする。

（委員長）

第4条 自己点検・評価部会に委員長を置き、第2条第1項第2号の委員をもって充てる。

2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

（会議）

第5条 自己点検・評価部会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

2 議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

（代理出席）

第6条 委員がやむを得ない事情により会議に出席できないときは、代理の者を出席させることができる。

（委員以外の者の出席）

第7条 自己点検・評価部会は、必要に応じて委員以外の者の出席を求め、意見を聴くことができる。

（事務）

第8条 自己点検・評価部会の事務は、教育支援課において処理する。

（雑則）

第9条 この要綱に定めるもののほか、自己点検・評価部会について必要な事項は、別に定める。

附 則

1 この要綱は、令和4年4月28日から施行する。

2 第3条の規定にかかわらず、この要綱の施行後、最初に選出される委員の任期は、令和6年3月31日までとする。

大学等名	四国大学	申請レベル	応用基礎レベル（大学等単位）
教育プログラム名	四国大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム	申請年度	令和7年度

## 取組概要



# 四国大学 数理・データサイエンス・AI教育プログラム 概要

**全学向け教育プログラムとしてスタート** リテラシーレベル：令和3年度～  
 応用基礎レベル：令和6年度～

### 【プログラムの目的】

Society5.0社会において、文理を問わず必須とされる数理・データサイエンス・AIの基礎的知識及び応用スキルを身につけ、新しい価値創造や課題解決・社会貢献ができる人材の育成

### カリキュラム

①情報リテラシー	(2単位)	導入	基礎	心得	
②情報基礎	(2単位)	導入	基礎		
③AI・データサイエンス入門	(2単位)	導入	基礎	心得	必修
④AI・データサイエンス数理基礎	(2単位)		応用基礎		必修
⑤AI・データサイエンス実践基礎	(2単位)		応用基礎		必修

分かりやすさ・楽しさの充実  
 LSM(マナバコース)の活用  
 ▶ 授業資料の閲覧  
 ▶ 課題の提出・フィードバック  
 履修を促す情報発信  
 ▶ オリエンテーションで周知  
 ▶ HP・チラシ等で案内

リテラシーレベル 修了要件：①②③より必修科目を含む2科目4単位以上  
 応用基礎レベル 修了要件：④⑤より必修科目を含む2科目4単位以上

### 学修目標

リテラシーレベル：デジタル社会の基礎的な素養としての数理・データサイエンス・AIに関する知識の修得を目指す

応用基礎レベル：自身の専門分野において数理・データサイエンス・AIに関する知識を活用することができる応用基礎力の修得を目指す

### 学生が身に付けられる能力

リテラシーレベル：現代社会において数理・データサイエンス・AIの果たしている役割やデータ・AI利活用の領域、その事例や価値創出、留意すべき事項について理解するとともに、実際のデータを「読む力」「説明する力」「活用する力」等を身に付ける。

応用基礎レベル：データ・AI利活用に必要とされる数理的な考え方を理解するとともに、データから意味を抽出し、現実の問題にフィードバックする能力、AI・データを活用して課題解決をするための基礎能力を修得し、専門分野での応用につなげる力を身に付ける。

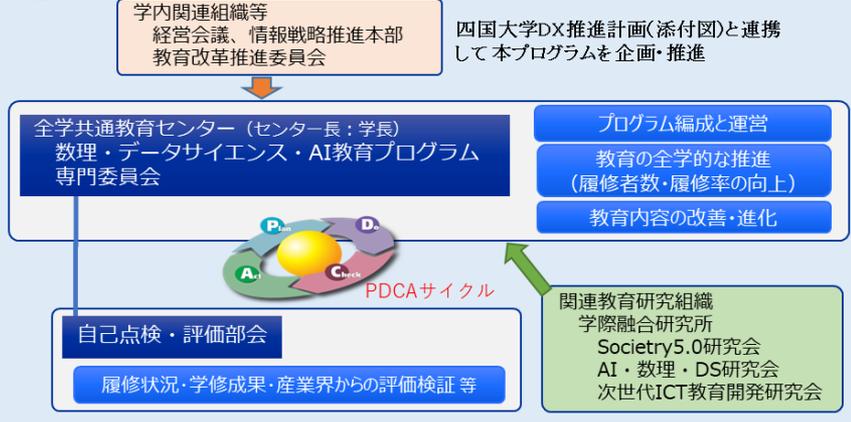


デジタル証明書「オープンバッジ」  
 修了者にレベル毎に発行

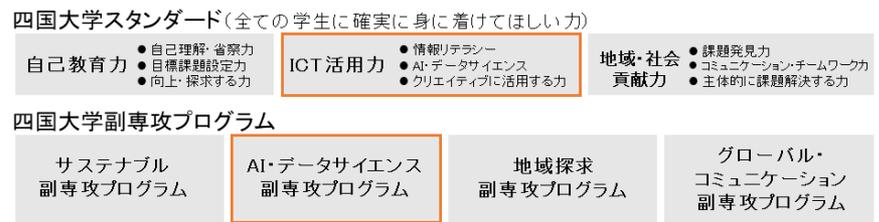


数理・データサイエンス・AI教育プログラム  
 成績優秀者表彰制度・表彰式(2022.4)

### 【実施体制】



### 【令和7年度 四国大学教育改革プログラムの柱に組み込み全学的に推進】



### 【学修環境の整備】

- ▶ BYOD端末利用の推奨  
ICTを活用した教育効果の強化を目的に、本学では全学生にBYODを推奨。遠隔授業の受講時だけでなく、AI解析、資料集積・レポート作成を含めDX活用を促進。
- ▶ 高速WiFiを含む学内DX基盤の整備  
キャンパス内において、学生・教職員向けの有線・無線LAN、特に高速WiFi6を整備し、サービスを提供。
- ▶ 支援体制の充実  
全学共通教育センターでは履修サポート、情報教育センターでは、学生のBYOD端末、レンタルパソコンへの使用相談・利用サービス、学内ネットワーク等、学内のDXに関する全体的サポートを行っている。

# データサイエンス Q&A



データサイエンスって何ですか？



ひとことで言うと、社会のさまざまな課題をデータを使って解決する学習です。ここでいう「データ」とは、コンピュータで処理できる情報のことで、数字や文字だけでなく、画像や音声、動画なども含まれます。



私は文系なのですが、データサイエンスは役に立ちますか？



どのような分野に進むにしても、これからはデータサイエンスというやり方を知っておく必要があると思います。

Q

データサイエンスとは、具体的にどんなことをするのですか？

A

データサイエンスの学習の進め方は、大まかに言うと次のようになります。

- ①課題を設定する
- ②課題についてのデータを集める
- ③データをコンピュータが理解できる形にする
- ④コンピュータを使ってデータを分析する
- ⑤分析結果を確認する
- ⑥課題解決方法を提示する

Q

データをコンピュータが理解できる形にする、ってどういうことですか？

A

データを電子化することです。いちばん素朴な例を挙げると、手書きの数字を人間が見てパソコンに打ち込む、といったことです。(現在は手書き文字・数字を認識するソフトがあります。)

Q

データの可視化(かしか)って、どんなことですか？

A

数字が並んでいるだけだったりするデータを、グラフ・表・図など、一目見て分かる形にすることです。さまざまな方式の中から、いちばん効果的なやり方を選ぶ必要があります。

Q

データサイエンスは、どんなところで使われていますか？

A

現代はビッグデータの時代とも呼ばれています。画像処理や言語処理、人工知能などに限らずあらゆる分野で数値やデータが活用されています。皆さんが将来いろいろな分野で、仕事や課題に取り組むときに数理・データサイエンスの学習は必ず役に立つと思います。もちろんそのために基礎となる学習も必要です。ぜひデータサイエンスの理解を深めて、将来に役立てましょう。



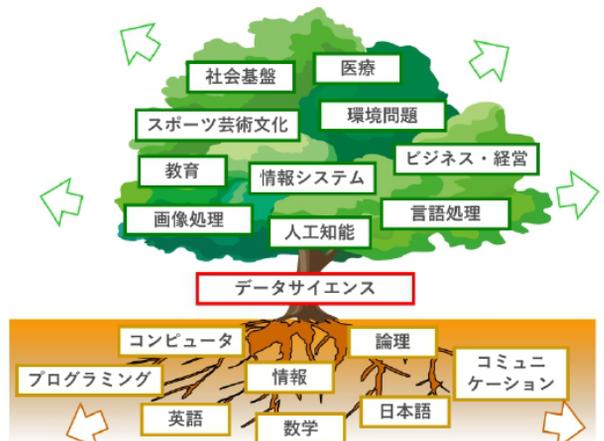
全学共通科目の「AI・データサイエンス入門」と学科専門科目はどのように関連しますか？



データサイエンスの出発点は、①どんな課題があり、②それを解決するにはどのようなデータが使えそうか、を考えることです。これについては、それぞれの学科・専攻の専門科目で学ぶ知識が必要です。「AI・データサイエンス入門」の授業では、課題とデータは教員が用意して、データを可視化する方法やデータ分析のやり方を身につけてもらいます。

将来、あなたが卒業研究やお仕事で課題を解決したいと思ったとき、この授業で学んだ方法論がきっと役に立つと思います。

データサイエンスの理解を深めて  
将来に役立てよう！

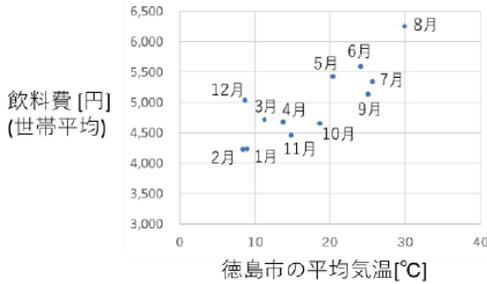




データサイエンスの考え方を応用することによって様々なデータから、これまで見ていなかったものが見えてくるなど意味のある情報や価値が得られます。「AI・データサイエンス入門」では、実社会のデータを用いて、分かりやすく、一部演習を含めた形式で学びます。授業で扱う用語を少し紹介！

**Q** 散布図って何ですか？

**A** グラフの上に点が散らばった図のことです。



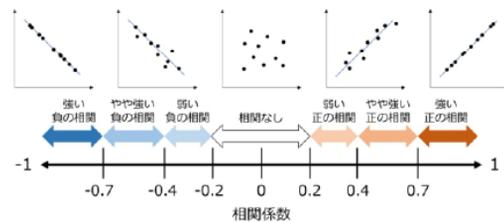
これは、徳島市の各月の気温と世帯当たりの飲料費の関係を示した散布図です。これを使うと、例えば月の平均気温が何度だと飲料費はどれくらいになるか予想することができます。その具体的なやり方は、「回帰直線」のところでも勉強しましょうね。

**Q** データ分析で注意すべき点って何ですか？

**A** 例えば「散布図」で、点を3つ書いたとき、一直線に並んでいたとします。ところがもっとデータを増やして（例えば点を30個にして）みると、並びはバラバラかもしれません。十分な数のデータを集めないと、間違っただけの判断をしてしまうおそれがあります。授業では、この他にもさまざまな例を挙げて説明していきます。

**Q** 相関係数って何ですか？

**A** グラフの上に点が散らばった「散布図」では、点々が直線的に並んでいることがありますし、バラバラに散らばっていることもありますね。



相関係数というのは、グラフの点々の並びがどれだけ直線に近いかを示すものです。全くバラバラだと相関係数は「0」、右肩上がりで直線上に並んでいたなら「1」、右肩下がりで直線上に並んでいたなら「-1」です。つまり相関係数は、-1~1の間の数字で表されるのです。

**Q** クロス集計って何ですか？

**A** 集めたデータを数字で分かる形に要約することを「集計」といいます。例えば、ある商品を購入した人にアンケートしたところ、満足した75%、不満がある15%、どちらとも言えない10%、になったとします（これは単純集計）。クロス集計とは、2つ以上の設問を掛け合わせて集計するやり方です。例えば「満足したか」×「年齢」で調べてみると、20代の方は90%が満足しているが、60代の方で満足と答えた人は50%しかいない、といったことが分かってきます。こちらのほうがマーケティングには役立ちそうですね。

**Q** スプレッドシートって何ですか？

**A** エクセルのような表計算ソフトのことです。表計算ソフトで、縦横のマス目(セル)に文字や数値を入力していくと、それを元に計算や集計をすることができます。

**Q** CSVって何ですか？

**A** CSV (シーエスブイ Comma Separated Value) とは、直訳すると「カンマで区切った値」。つまり、半角カンマ (,) で区切りをいれたデータののことをいいます。CSVのファイルはテキスト形式なので、さまざまなソフトで読み込むことができます。(Microsoft エクセルとか、Apple ナンバーズとか、Google スプレッドシートとか)

**Q** 機械学習というのを聞いたことがありますが、データサイエンスと関係がありますか？

**A** 機械学習とは、コンピュータが「学習」することにより、ものを見分ける(識別)とか予測をすることといったタスク(課題)を実行できるようになることを言います。例えば、コンピュータに大量の犬の画像を読み込ませると、新たに画像を入力したとき、それが犬なのか、そうでないのかを区別することができるようになります。こういったことも、社会のさまざまなデータから価値を引き出す、データサイエンスの一例です。

**Q** AI・データサイエンスの倫理的諸問題って、個人情報保護することですか？

**A** 個人情報の保護もその一つです。データを集めた側には、個人情報を守る義務が生じます。これには、①コンピュータが攻撃されて情報が流出してしまうことを防ぐ、②分析に不要な情報は消去する、といったことが含まれます。②については例えば皆さんが通販サイトの会員になるとき、住所・氏名や電話番号を登録しますね。企業が新製品の売れ行きを分析しようとして、〇〇県在住の〇歳代 女性/男性が〇色のものを購入、ということが分かれば良いのであれば、市以下の住所や氏名、電話番号は消してしまおう、ということになります。